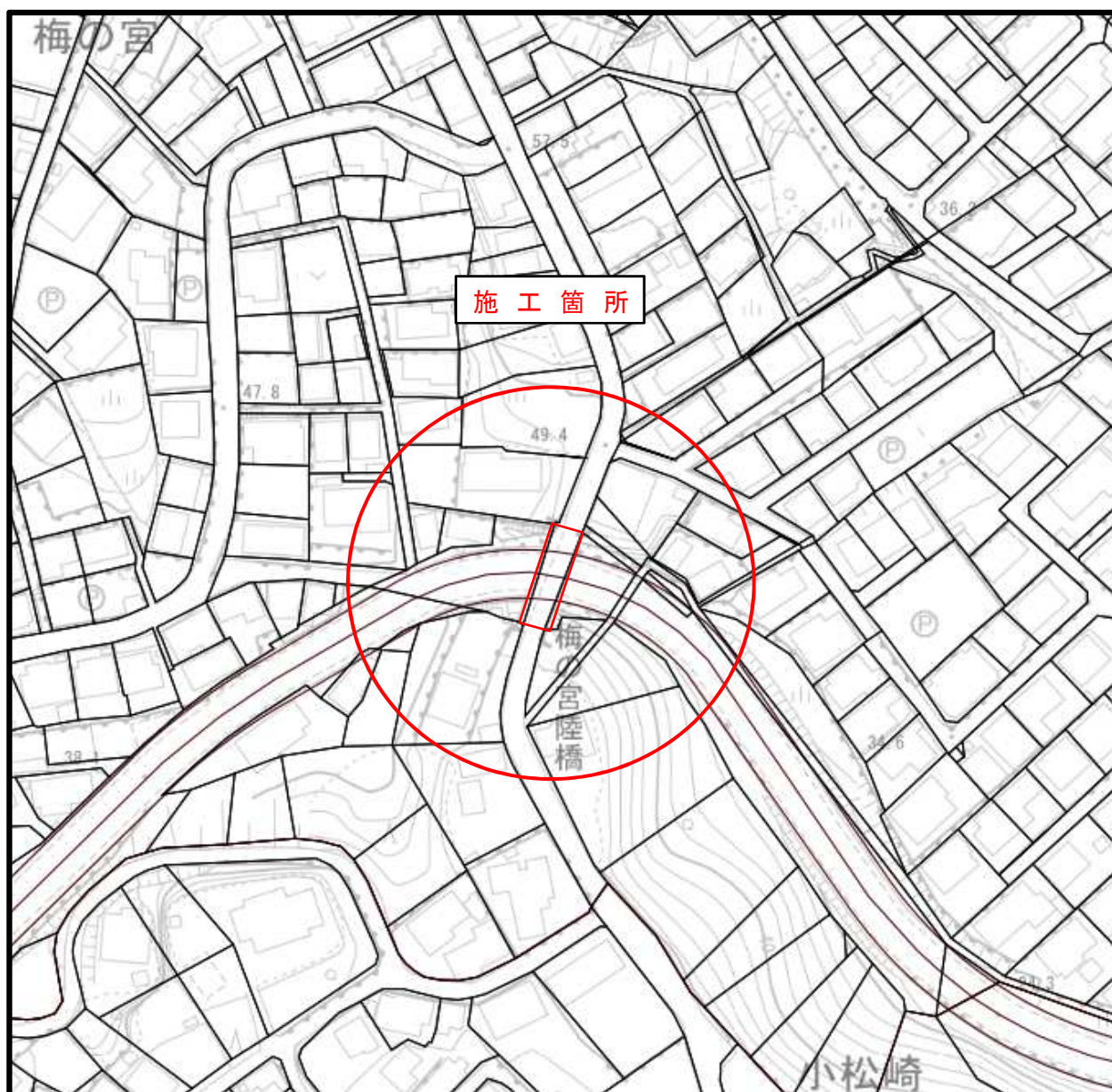
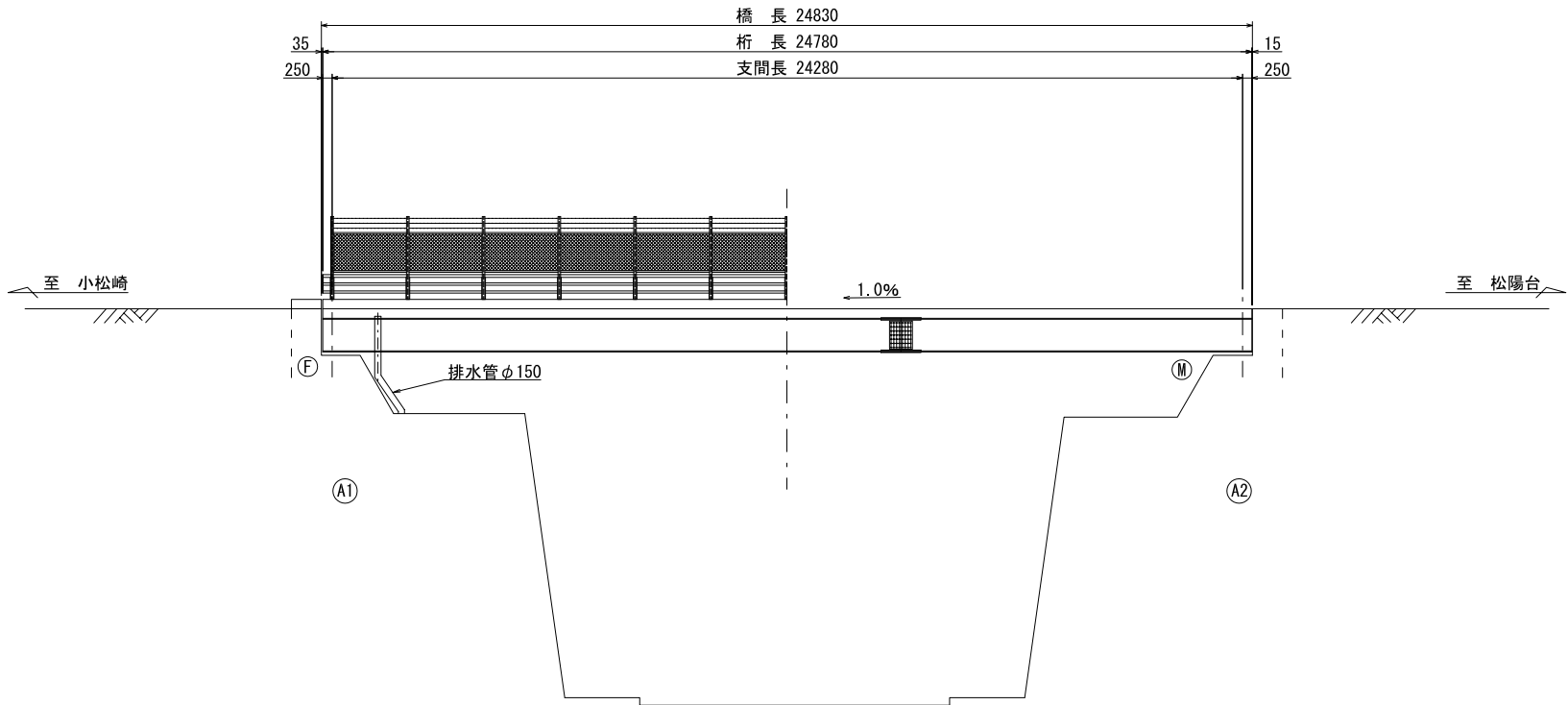


位置図

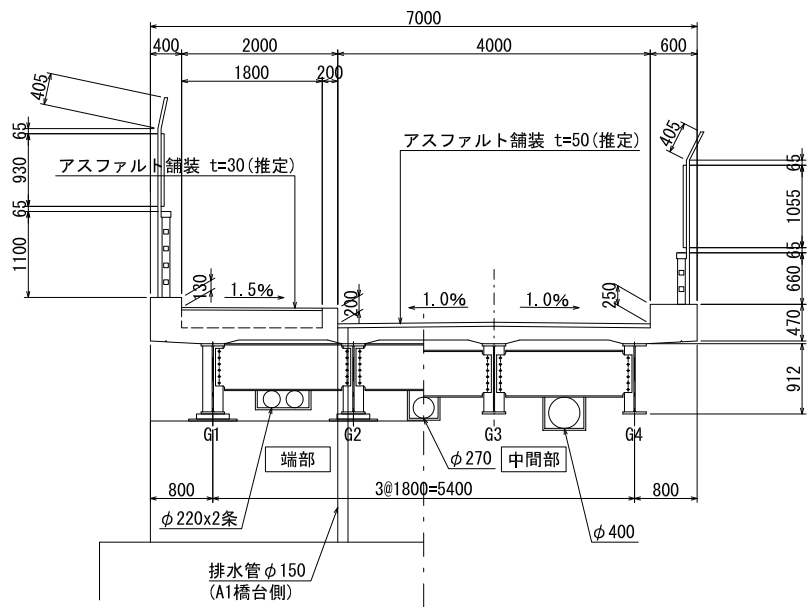


梅の宮陸橋 現況一般図

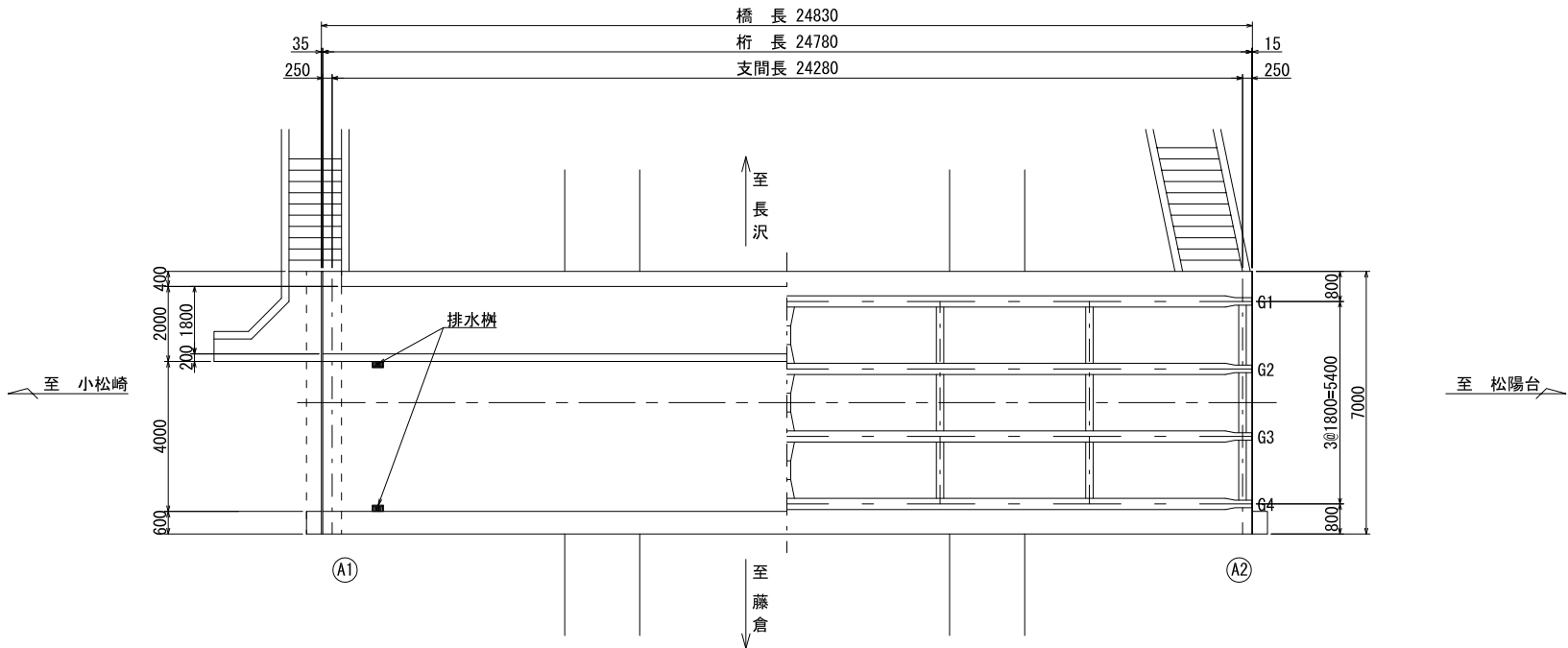
側面図 S = 1 : 100



断面図 S = 1 : 50



平面図 S = 1 : 100



設計条件

橋 長	L=24. 830m
支 間 長	L=24. 280m
有 効 幅 員	車道 W=4. 000m、歩道 W=2. 000m
橋 格	1等橋
形 式	合成1桁橋
平 面 線 形	直線橋
斜 角	90°
縦 断 勾 配	1. 0%
横 断 勾 配	1. 5% 1. 0% 1. 0%
舗 装	車道 アスファルト舗装 t=50(推定) 歩道 アスファルト舗装 t=30(推定)
竣 工	昭和54年1月30日
橋 齢	44年
適用示方書	昭和47年3月(1972)道路橋示方書 I 共通編

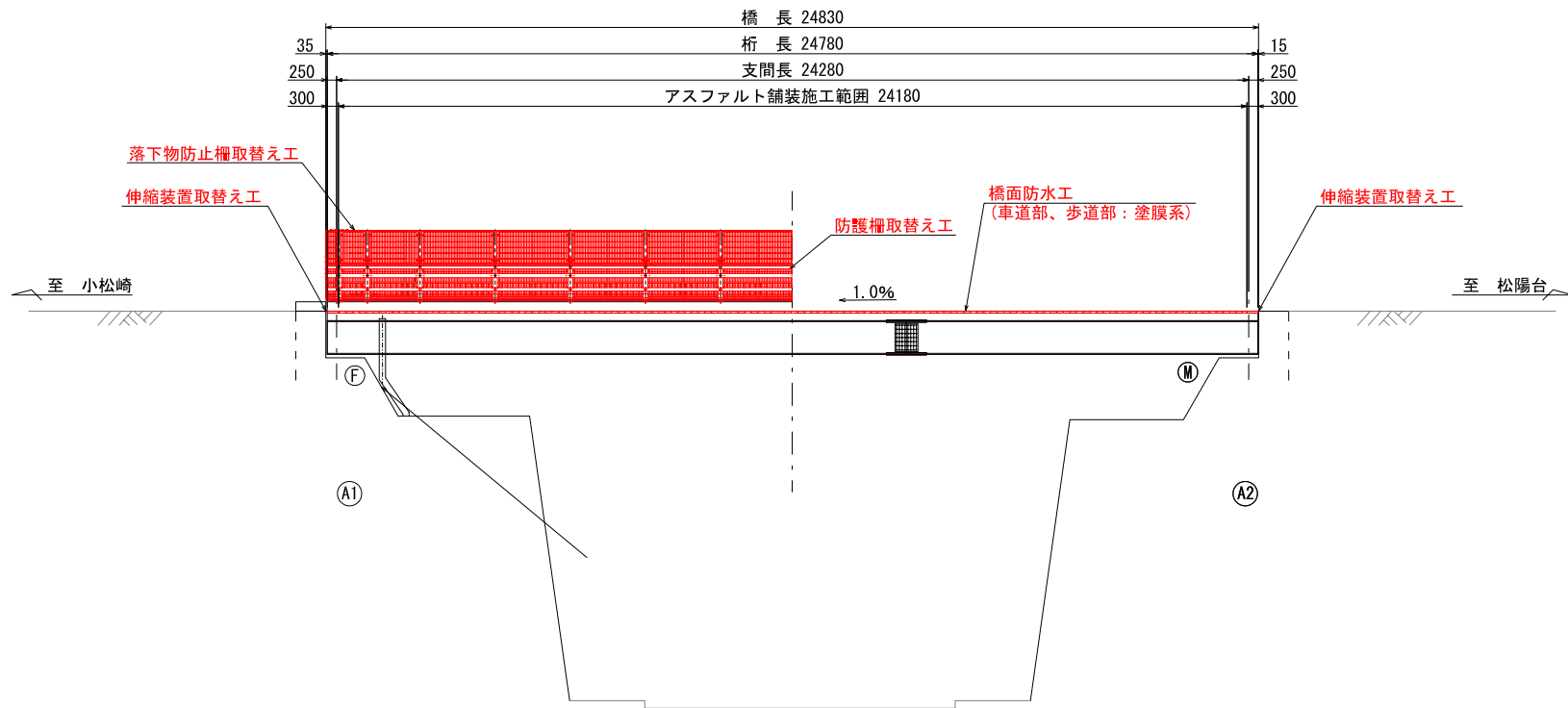
注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	現況一般図		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計 年度	
塩 竈 市	図番	1	13

梅の宮陸橋 補修一般図

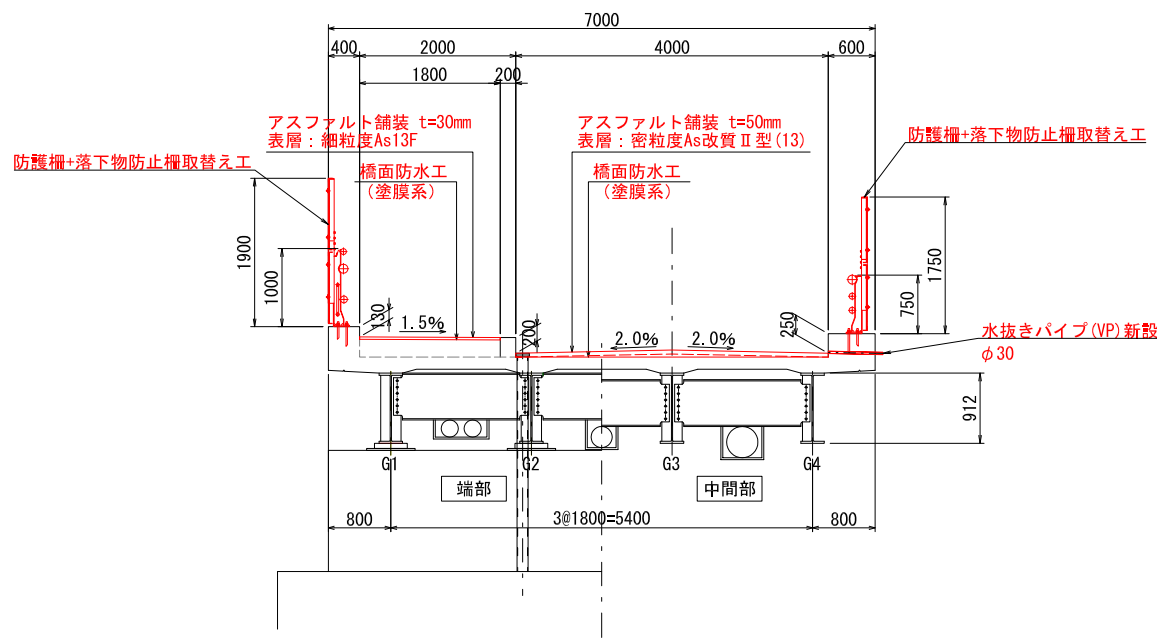
側面図

S = 1 : 100



断面図

S = 1 : 50

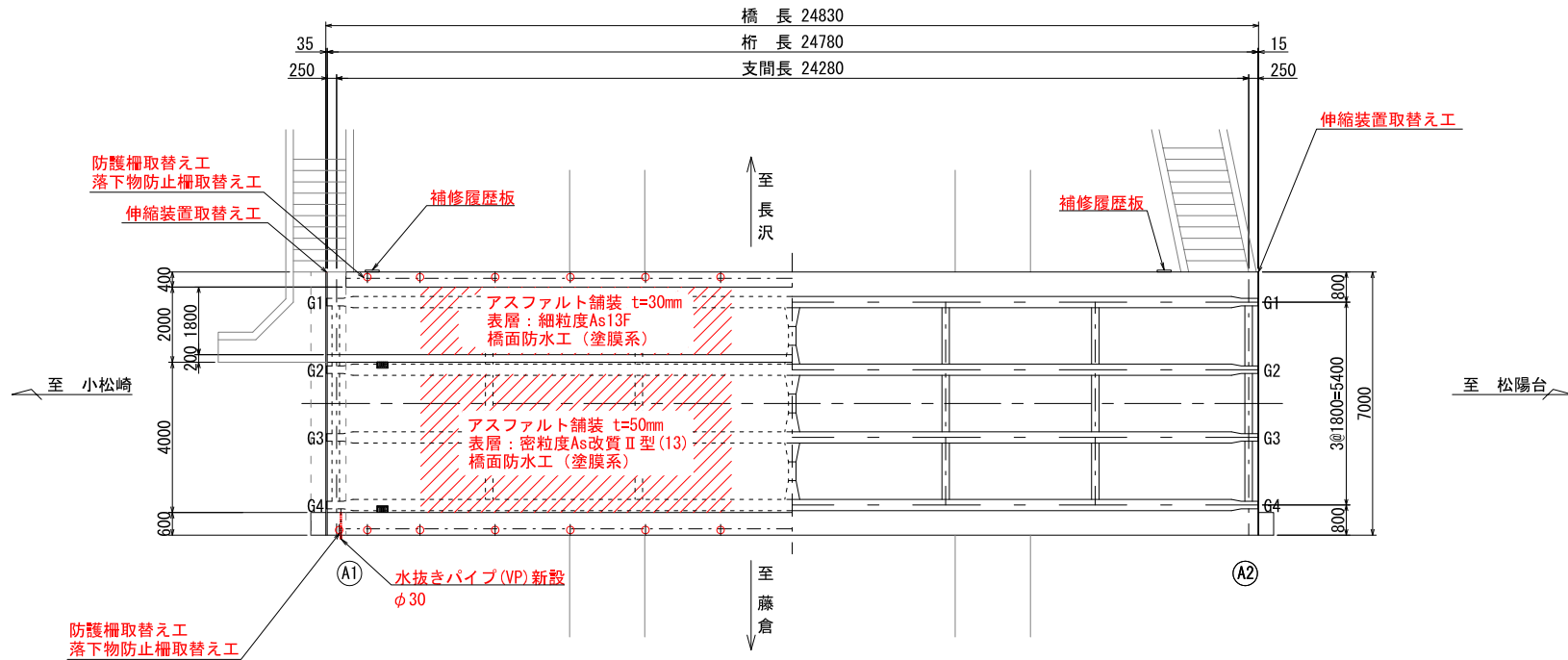


補修項目一覧表

工 種	部 位	備 考
橋面防水工	車道部、歩道部：塗膜系	舗装打ち換え工含む、地覆部にVP管の設置
防護柵取替え工	左右全て	
落下防止柵取替え工	左右全て	
伸縮装置取替え工	A1、A2	

平面図

S = 1 : 100



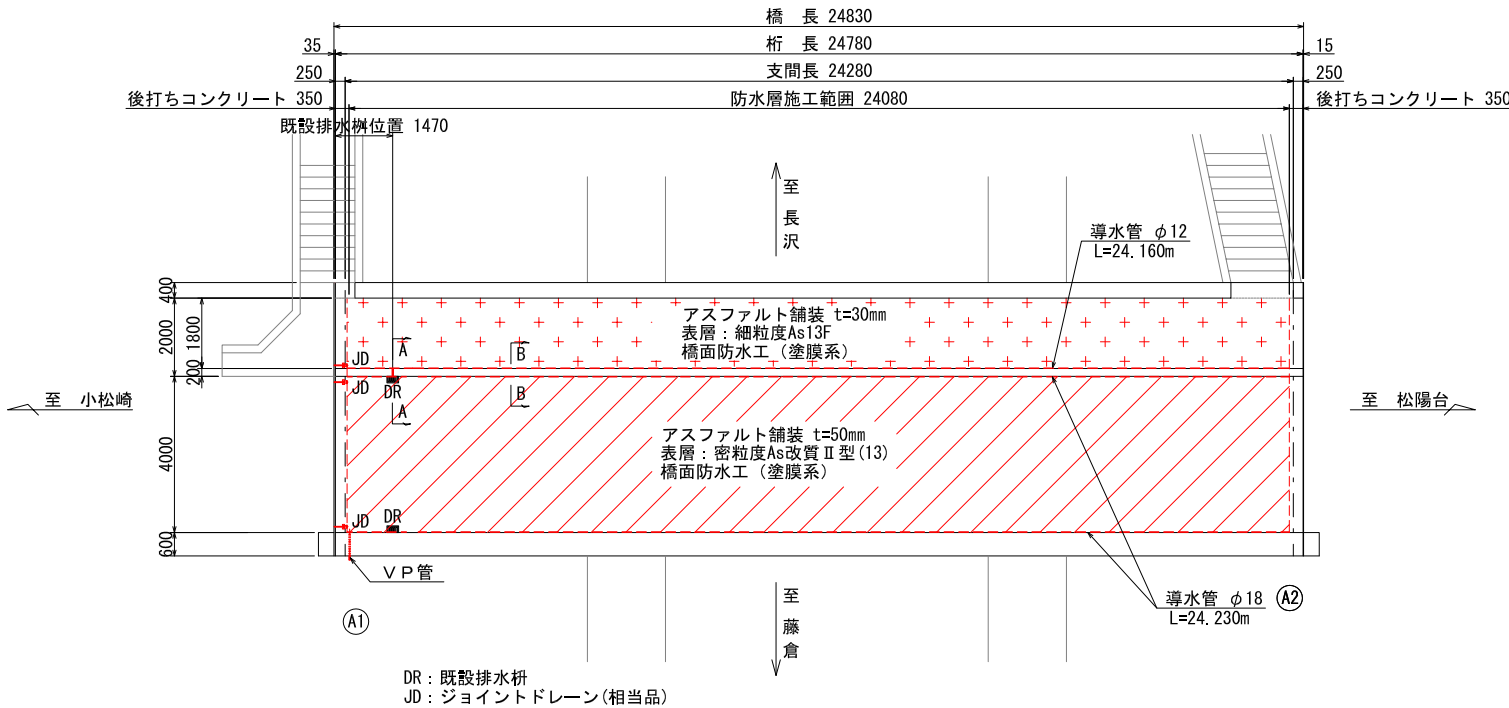
注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	補修一般図		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計 年度	
塩 竈 市	図番	2	13

橋面防水工図（その1）

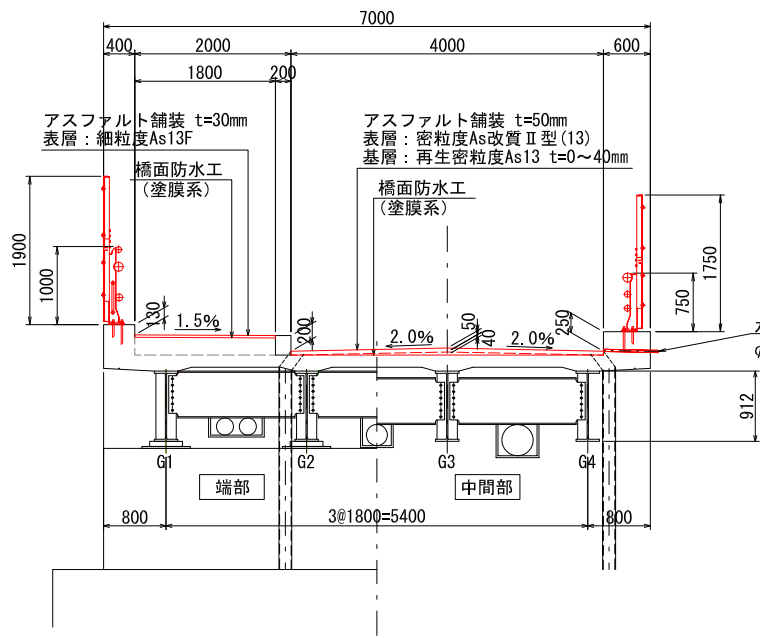
平面図

S = 1 : 100



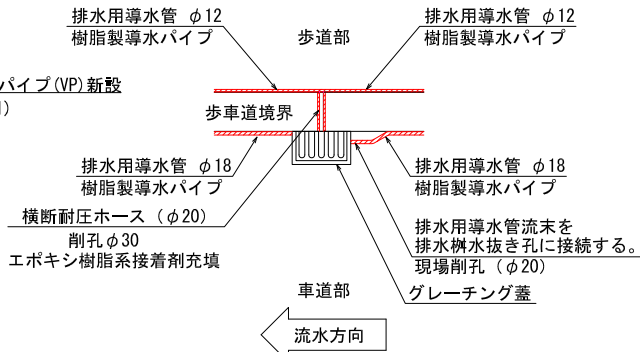
断面図

S = 1 : 50



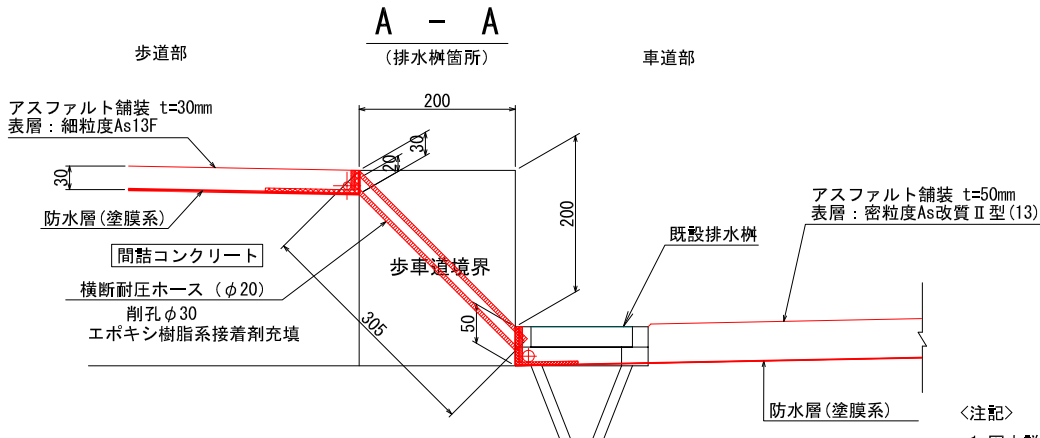
排水樹接続図

S=1 : 20



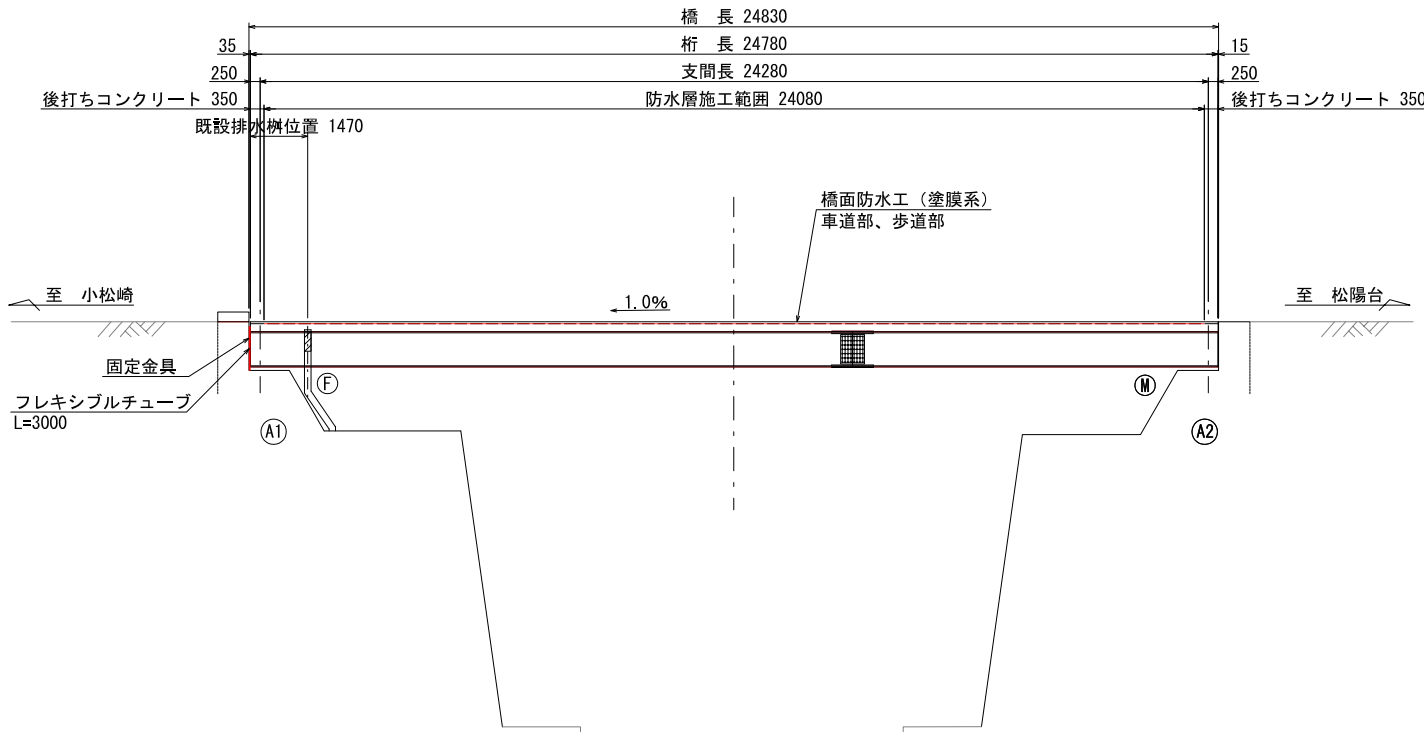
横断耐圧ホース接続詳細図

S=1:5



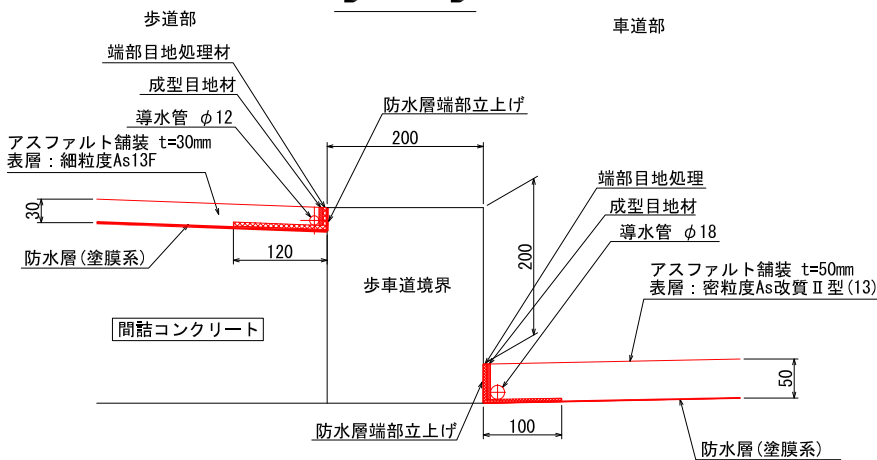
側面図

S = 1 : 100



端部防水処理詳細図

S=1 : 5



<注記>

1. 図中詳細寸法は、現場計測の上決定すること。
2. 塗膜防水は、既設舗装全厚を撤去し、コンクリート上の設置を原則とする。
3. コンクリート面にレイタンス、付着を阻害する粉塵、油脂などが付着していると、塗膜防水の接着性に悪影響を及ぼすため、これらの有害物を確実に除去すること。
4. 塗膜防水はコンクリート部が十分に乾燥している状態で施工すること。乾燥状態の確認は、水分計による含水率10%以下を目安とする。
5. 車道部横断方向の舗装調整厚(40mm)は、基層：アスファルト(再生密粒度As13)で施工すること。
6. 既設舗装撤去後、床版コンクリート上面の調査を行うこと。脆弱部があった場合は、補修しうえて防水層の施工を行うこと。
7. 舗装打換え厚は、既設舗装厚を確認後、監督員と協議の上決定すること。
8. 導水パイプの流末は、橋梁端部に滞水しないように適切に処理すること。
9. 鉄筋を切断しないように、削孔には十分注意を払い鉄筋探索を実施後、削孔すること。

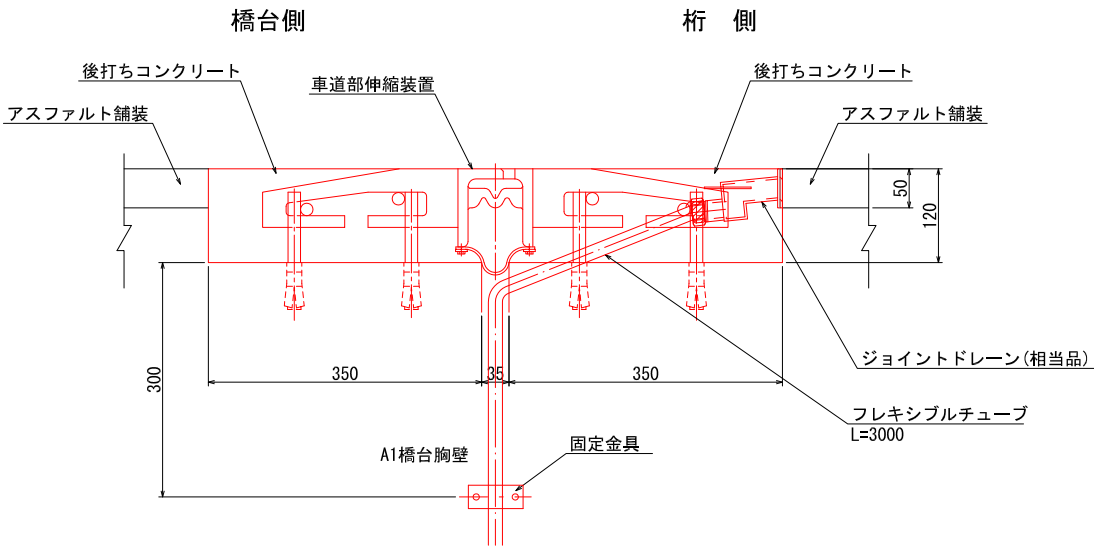
工事番号	号
路 線 名	市道 小松崎松陽台線
箇 所	塩竈市梅の宮 地内
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事
図 面 名	橋面防水工図 (その1)
縮 尺	図 示 位置
設 計 者	設計 年度
塩 竈 市	図番 3 / 13

橋面防水工図（その2）（参考図）

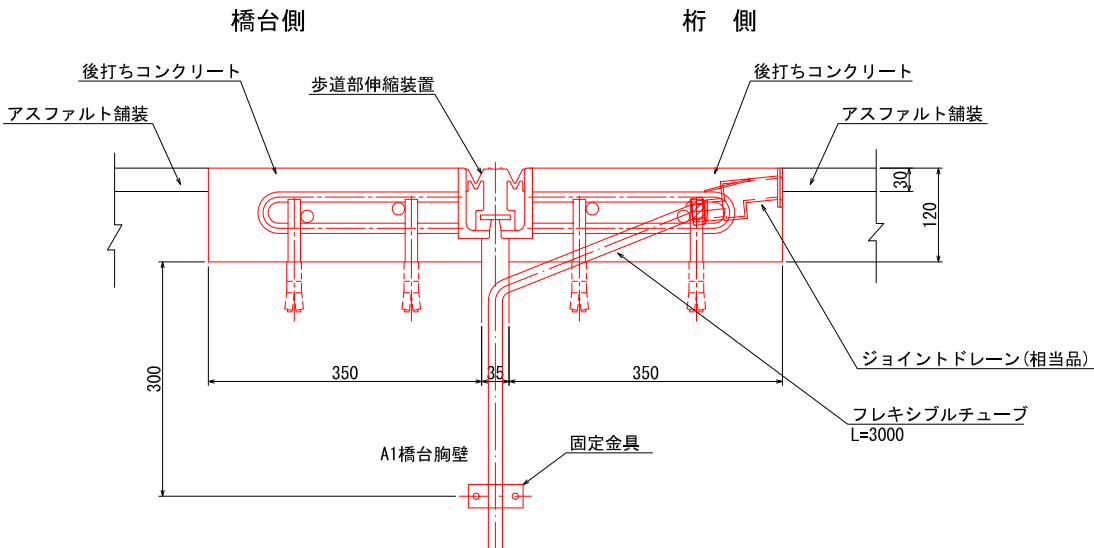
伸縮装置ジョイントドレーン相当品取付図

断面図 S=1 : 5

車道部



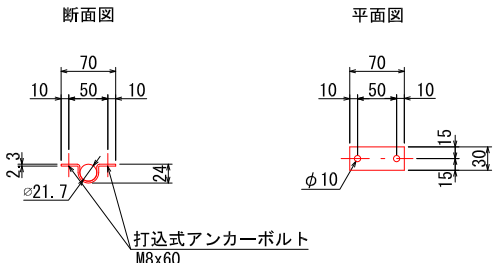
歩道部



固定金具詳細図

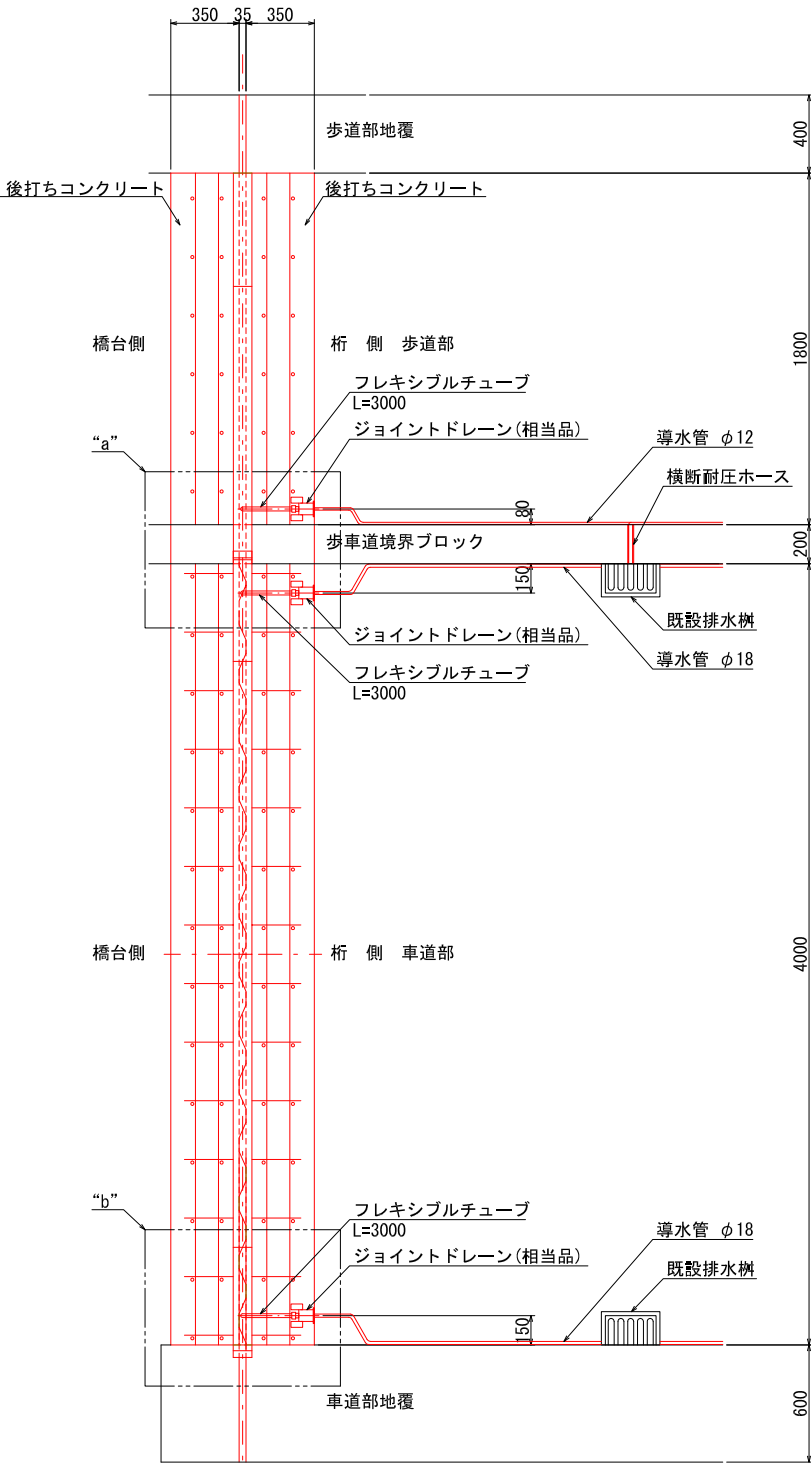
(N=3)

S=1 : 5



1箇所あたり
1-PL 30 x 2.3 x 101 (SUS304)
2-AncBolt M8 x 60 (SUS304)

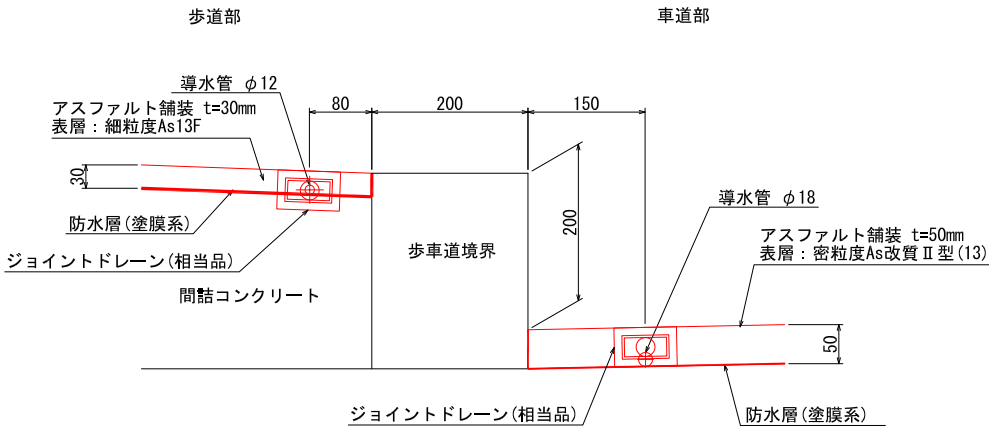
平面図 S=1 : 20



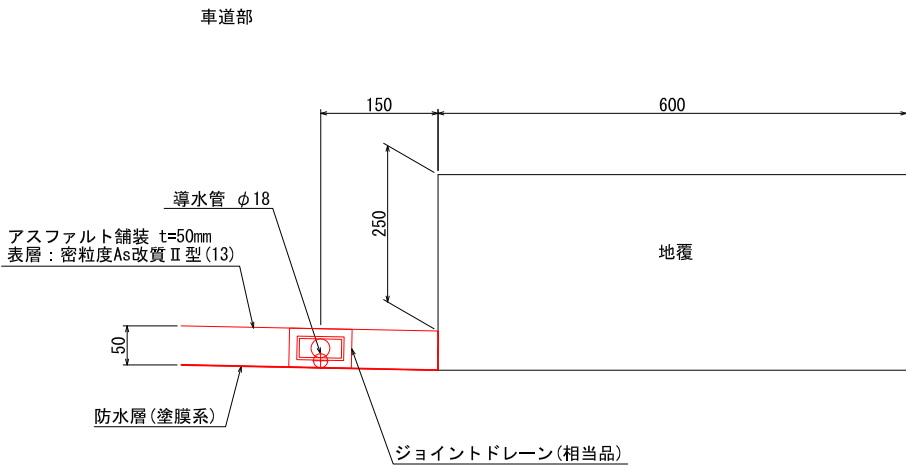
断面図

S=1 : 5

“a”



“b”



＜注記＞

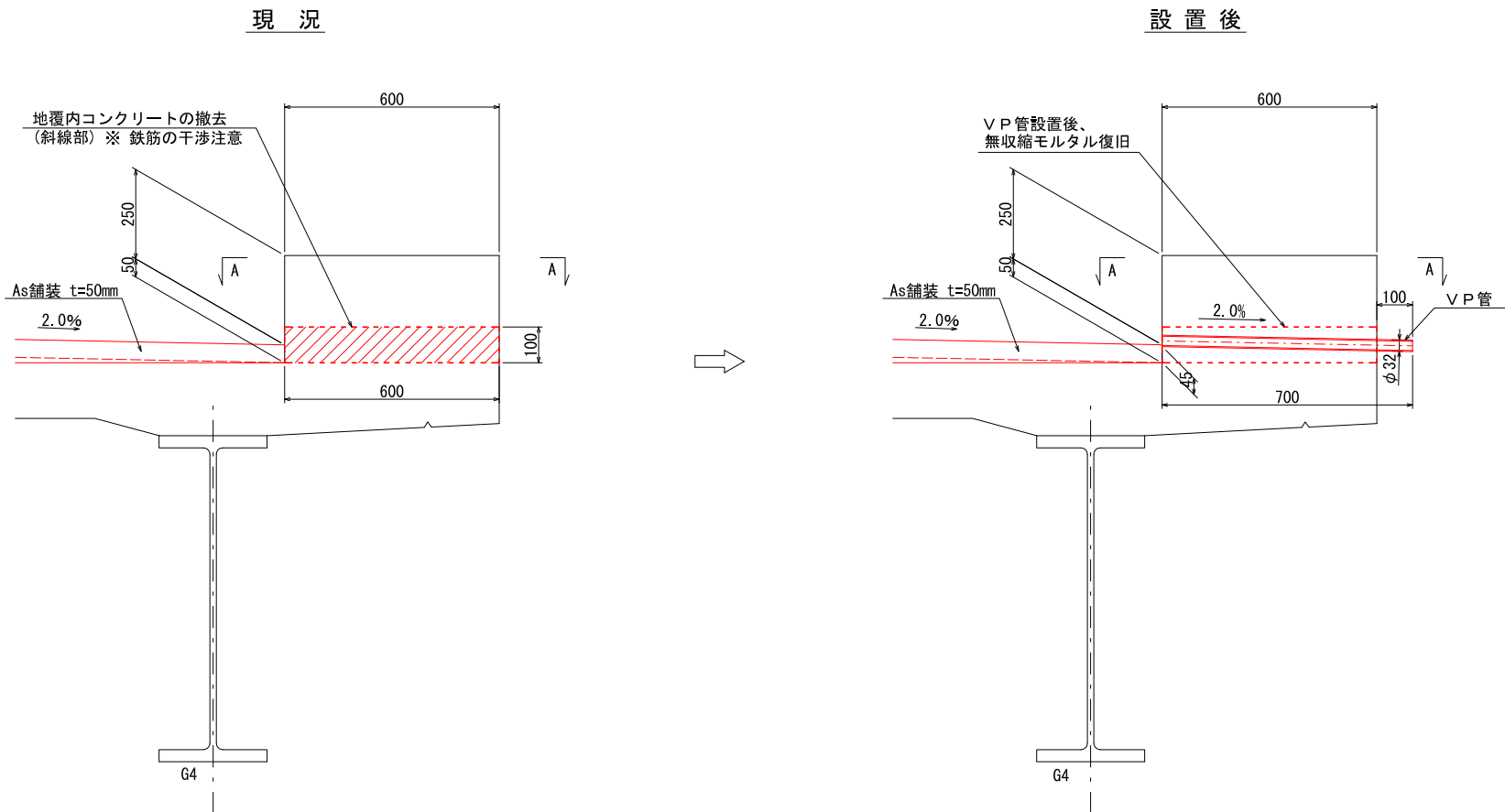
1. 図中詳細寸法は、現場計測の上決定すること。
2. 塗膜防水は、既設舗装全厚を撤去し、コンクリート上の設置を原則とする。
3. コンクリート面にレイタンス、付着を阻害する粉塵、油脂などが付着していると、塗膜防水の接着性に悪影響を及ぼすため、これらの有害物を確実に除去すること。
4. 塗膜防水はコンクリート部が十分に乾燥している状態で施工すること。乾燥状態の確認は、水分計による含水率10%以下を目安とする。
5. 車道部横断方向の舗装調整厚(40mm)は、基層：アスファルト(再生密粒度As13)で施工すること。
6. 既設舗装撤去後、床版コンクリート上面の調査を行うこと。脆弱部があった場合は、補修したうえで防水層の施工を行うこと。
7. 舗装打換え厚は、既設舗装厚を確認後、監督員と協議の上決定すること。
8. 導水パイプの流末は、橋梁端部に滞水しないように適切に処理すること。
9. 鉄筋を切断しないように、削孔には十分注意を払い鉄筋探索を実施後、削孔すること。

工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	橋面防水工図（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
塩 竈 市		図番	4 / 13

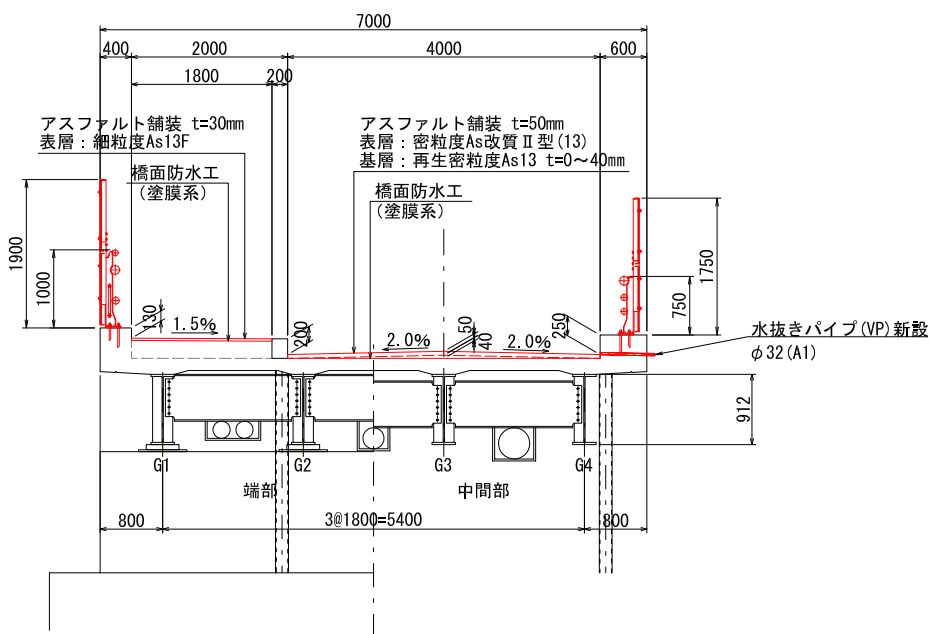
橋面防水工図（その3）

（橋面部 排水装置[車道 A1側]）

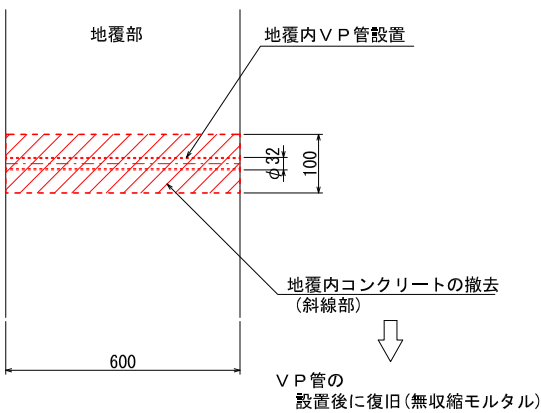
断面図 S=1:10
(1箇所)



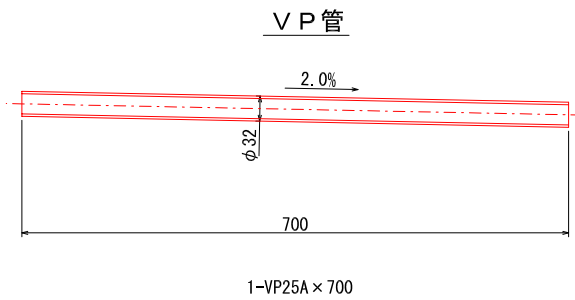
断面図 S = 1 : 50



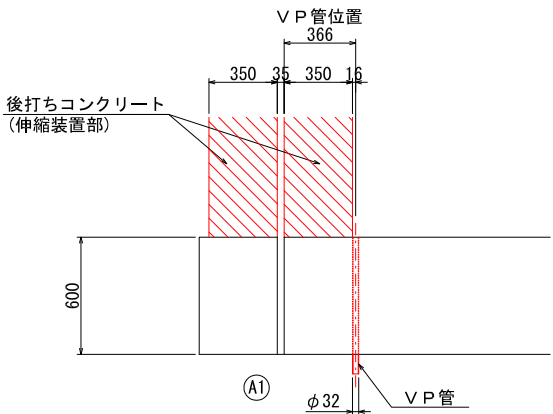
A - A



排水管詳細図 S=1:5
<製作数：1>



配置図 S=1:20



- 注記)
1. 工事着手前に現地計測し、関連寸法の確認を行うこと。
 2. 地覆鉄筋に干渉しないようにすること。

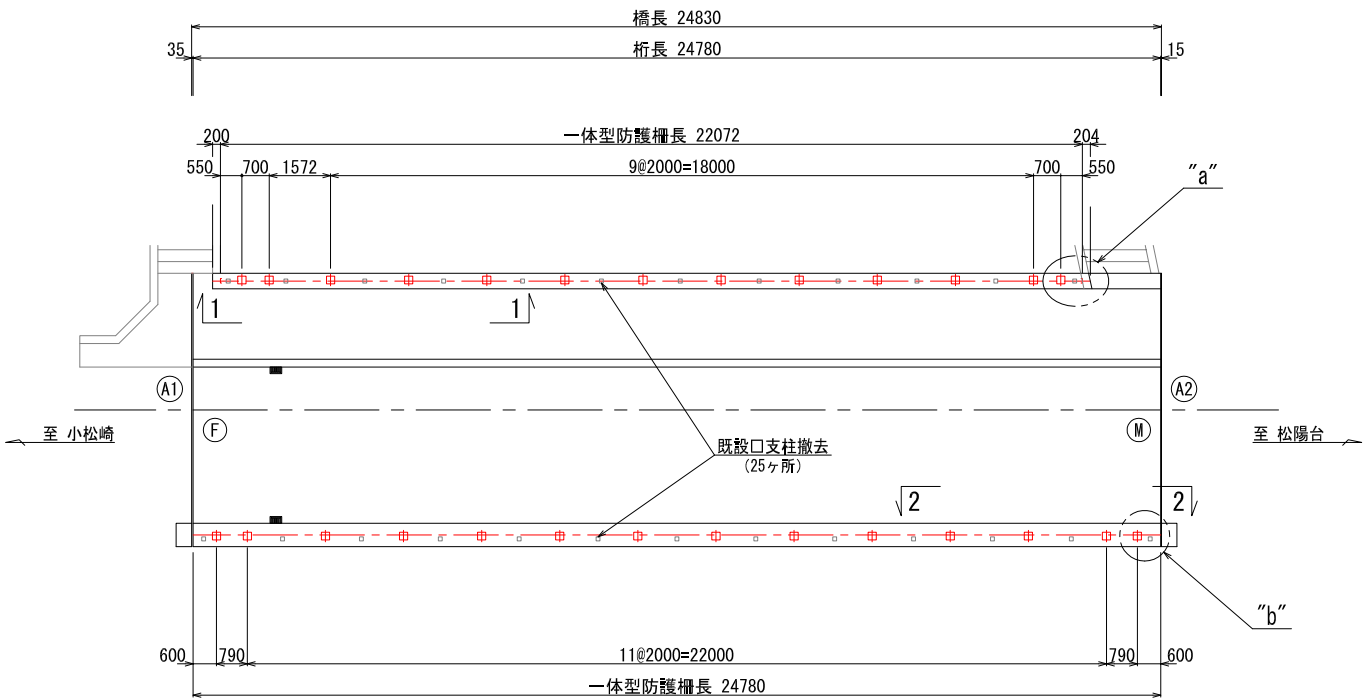
工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	橋面防水工図（その3）		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
塩 竈 市	図番	5	13

防護柵取替え工図（その1）

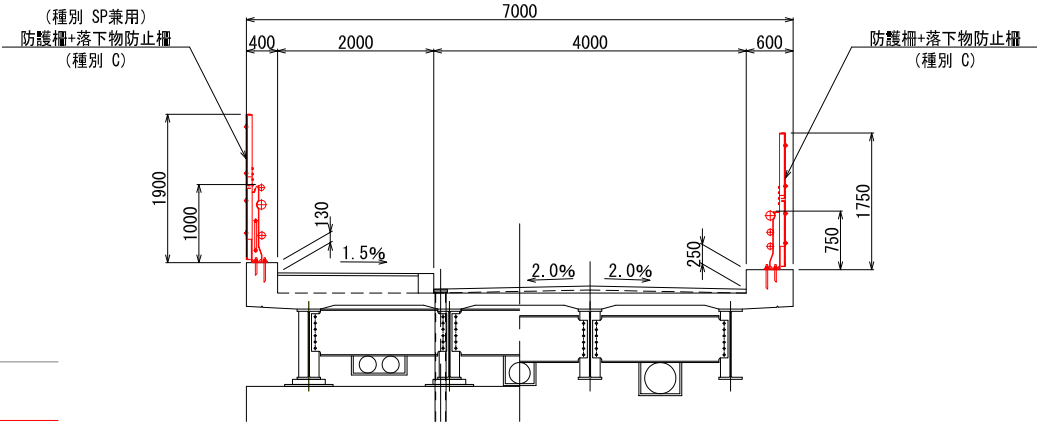
特記. 本図の各寸法は製作前に、現場検測を行い確認をすること。

支柱割付平面図 S=1:100

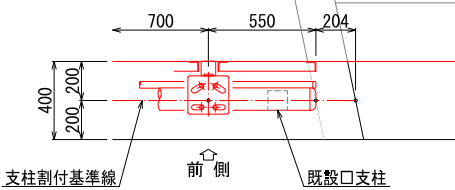
注. 防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。



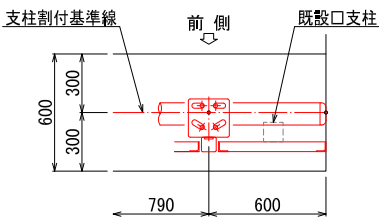
断面図 S=1:50



"a"部詳細図 S=1:20

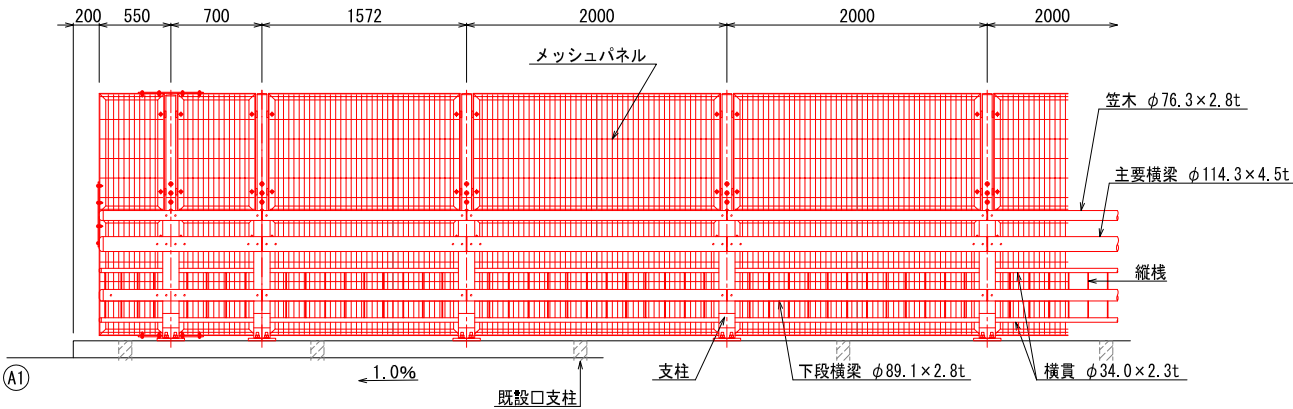


"b"部詳細図 S=1:20



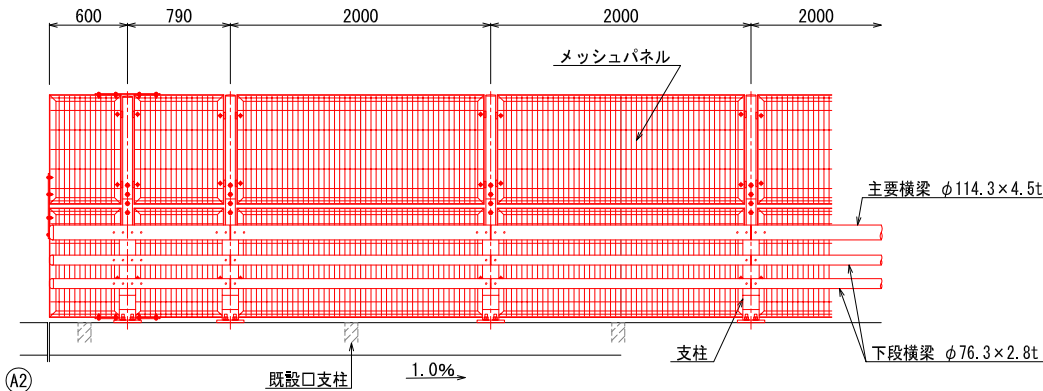
防護柵 + 落下物防止柵組立図 S=1:30

1-1 矢視



防護柵 + 落下物防止柵組立図 S=1:30

2-2 矢視



工事番号	号		
路線名	市道 小松崎松陽台線		
箇所	塩竈市梅の宮 地内		
工事名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図面名	防護柵取替え工図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
塩竈市	図番	6	13

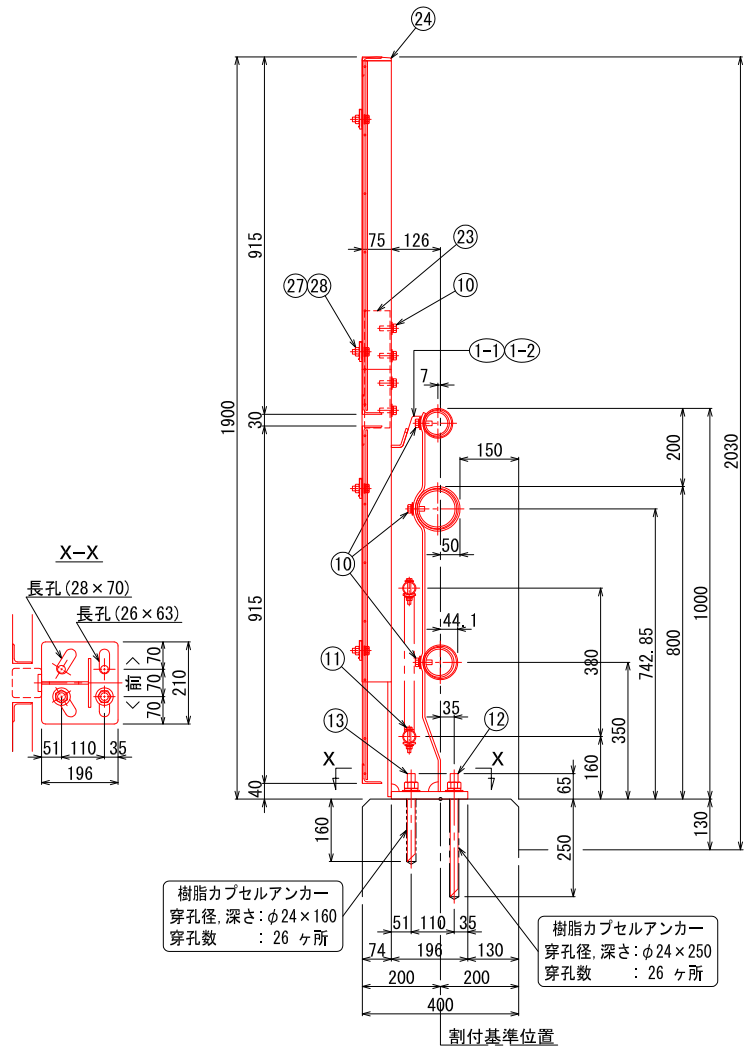
防護柵取替え工図（その2）

歩道部

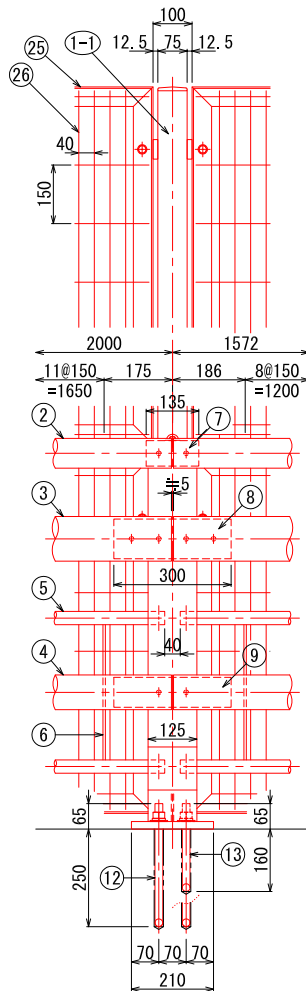
特記. 本図の各寸法は製作前に、現場検測を行い確認をすること。

一体型防護柵詳細図 S=1:10

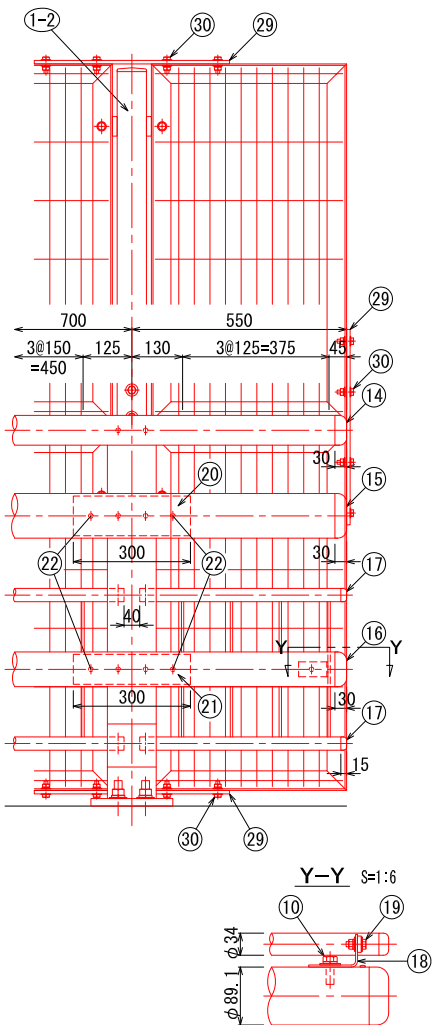
種別 C 防護柵 + 落下物防止柵



中間部 (11ヶ所)



補強端末部 (2ヶ所)



材料表

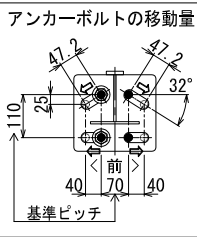
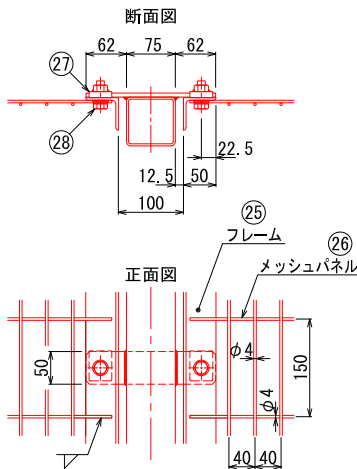
（種別 C）塗装仕様					
符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量
1-1	支柱 <中間部>	H1000×196×125/210 □ 75×75×3.2t	SS400, STKR400	28.64	11
1-2	〃 <端末部>	H1000×196×125/210 □ 75×75×3.2t	〃	28.57	2
2	笠木	φ 76.3×2.8t	STK400	5.08	21,957 m
3	主要横梁	φ 114.3×4.5t	〃	12.20	21,957 m
4	下段横梁	φ 89.1×2.8t	〃	5.96	21,957 m
5	横貫	φ 34.0×2.3t	〃	1.80	43,044 m
6	縦横	FB 6×25×346	SS400	0.41	133
7	スリーブ	φ 65.0×4.0t×135	STK400	0.81	11
8	〃	φ 101.6×4.5t×300	〃	3.23	11
9	〃	φ 76.3×4.2t×300	〃	2.23	11
10	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.06	154
11	〃	M 8×60 (N1, W2, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.04	52
12	アンカーボルト	全ジ 1-M20×315 (N1, W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.74	26
13	〃	全ジ 1-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.56	26
14	キャップ	φ 76.3×30	AC4C	0.24	2
15	〃	φ 114.3×30	〃	0.47	2
16	〃	φ 89.1×30	〃	0.30	2
17	〃	φ 34.0×15	〃	0.06	4
18	固定金具 <端末部>	3t×38	SS400	0.09	2
19	取付ボルト <端末部>	M8×25 (N1, W2, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.03	2
20	補強材	φ 101.6×4.5t×300	STK400	3.23	2
21	〃	φ 76.3×4.2t×300	〃	2.23	2
22	固定ボルト	M12×35 (W1)	強度区分 6.8 以上	0.05	8
23	スリーブ	□ 65×65×4.5t×300	SS400	1.80	13
24	キャップ	□ 75×75×10	AC4C	0.23	13
合計				1168.7 kg	
25	フレーム	L 50×50×4t (28 組)	SS400	3.06	128,728m
26	メッシュパネル	φ4×40×150 (28 枚)	SWM-P	3.06	36,542m2
27	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	104
28	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.06	104
29	端末接合板	9t×50×500	SS400	1.70	6
30	取付ボルト	M10×35 (N1, W2, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.06	24
合計				528.7 kg	
総合計				1697.4 kg	
一体型防護柵長 22.072 m					
・縦横端末：2ヶ所〔防護柵〕					
・補強端末：2ヶ所〔防護柵〕					
・端末処理：2ヶ所〔落下物防止柵〕					
〔 使用支柱：0%支柱 11 + 2 = 13本 〕					

特記）橋梁用ビーム型防護柵は（一社）全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

注 記

- 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」（令和3年3月）による。
*コンクリート設計基準強度σ_{ck} = 21 N/mm² 以上
- 風荷重は「道路橋示方書・同解説」（平成29年11月）による。
- アンカーボルトは地覆鉄筋を回避する仕様とする。
- 樹脂カプセルアンカーは別途手配品とする。
- 現場検測後のエキストラは別途計上とする。
- 橋名板取付金具は2ヶ所取付けること。

取付部詳細図 S=1:6



別途手配品＜参考＞

樹脂カプセルアンカー	数 量
前側：M20用 (TG-20LN) ロングタイプ	26
後側：M20用 (TG-20EN) ショートタイプ	26

工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	防護柵取替え工図(その2)		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計年度	
塩 竈 市	図番	7	13

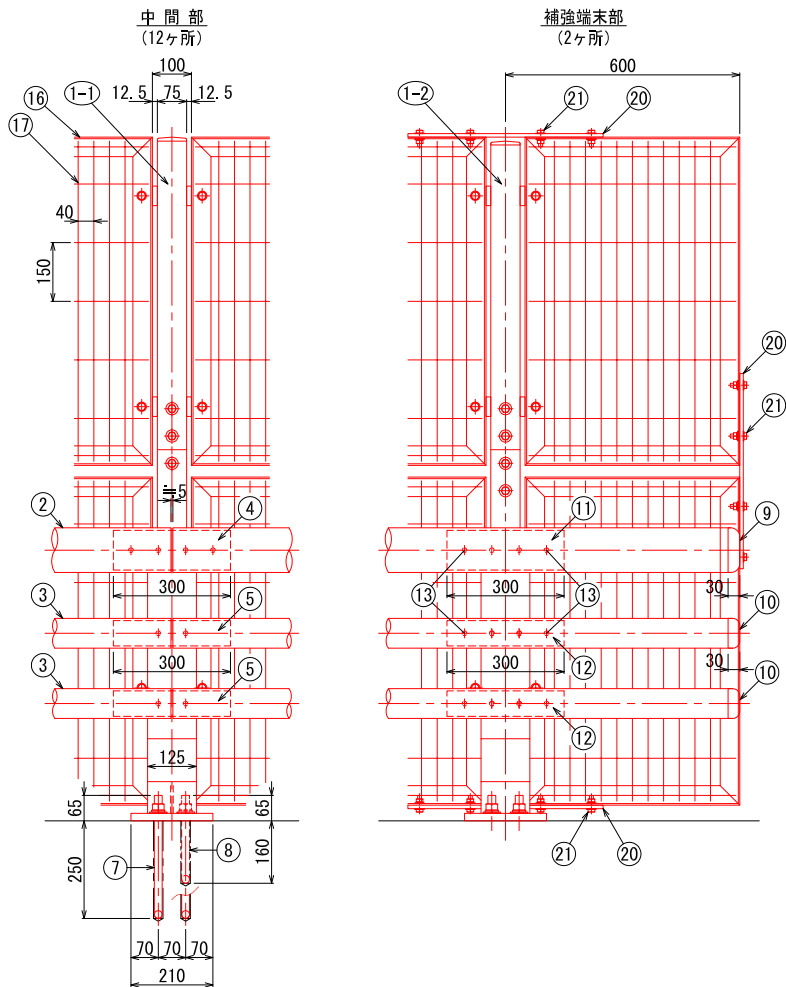
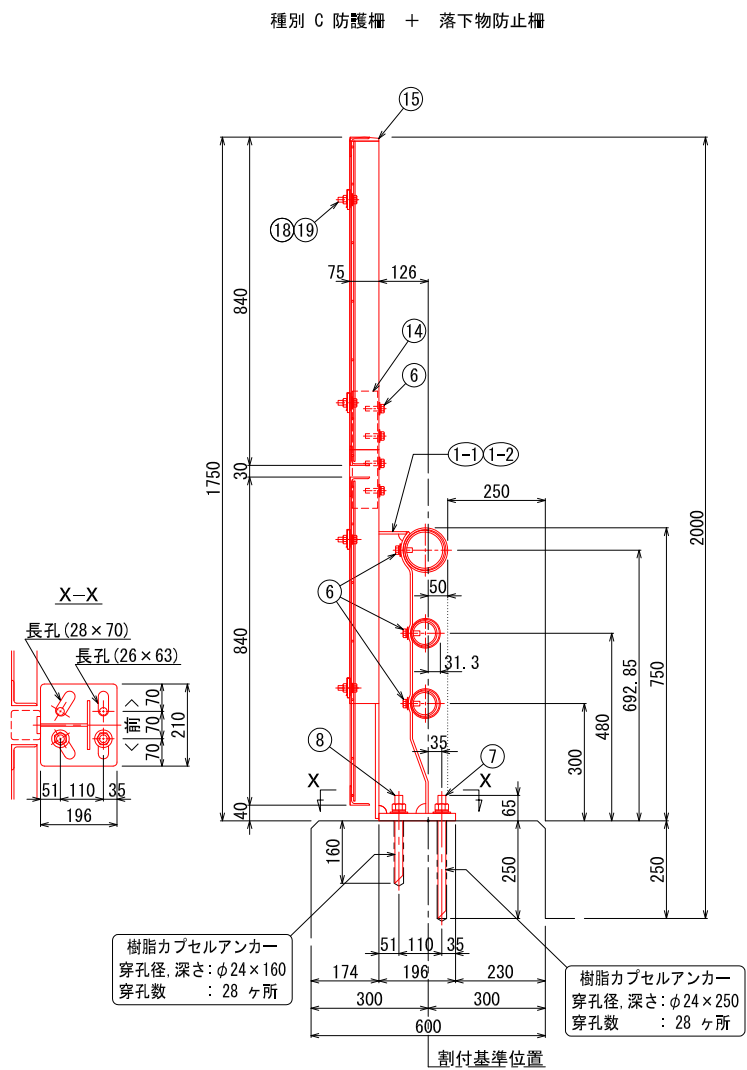
防護柵取替え工図（その3）

車道部

特記. 本図の各寸法は製作前に、現場検測を行い確認をすること。

一 体 型 防 護 柵 詳 細 図 1/10

種別 C 防護柵 + 落下物防止柵



材料表

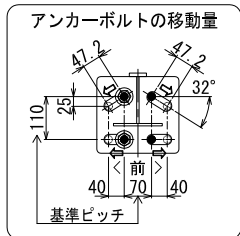
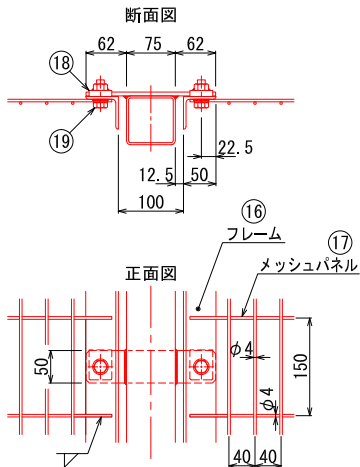
材料表				(種別 C) 塗装仕様			
符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量	表面処理
1-1	支柱 <small>〈中間部〉</small>	H750×196×125/210 □ 75×75×3.2t	SS400, STKR400	25.10	12	301.2	HDZT49 + 工場塗装
1-2	〃 <small>〈端末部〉</small>	H750×196×125/210 □ 75×75×3.2t	〃	25.03	2	50.1	〃
2	主要横梁	φ 114.3×4.5t	STK400	12.20	24.660 m	300.9	〃
3	下段横梁	φ 76.3×2.8t	〃	5.08	49.320 m	250.5	〃
4	スリーブ	φ 101.6×4.5t×300	〃	3.23	12	38.8	〃
5	〃	φ 65.0×4.0t×300	〃	1.80	24	43.2	〃
6	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6, 8 以上	0.06	164	9.8	HDZT49
7	アンカーボルト	全杉' I-M20×315 (N1, W1, SW1)	〃	0.74	28	20.7	〃
8	〃	全杉' I-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分 4, 6 以上	0.56	28	15.7	〃
9	キャップ	φ 114.3×30	AC4C	0.47	2	0.9	工場塗装
10	〃	φ 76.3×30	〃	0.24	4	1.0	〃
11	補強材	φ 101.6×4.5t×300	STK400	3.23	2	6.5	HDZT49
12	〃	φ 65.0×4.0t×300	〃	1.80	4	7.2	〃
13	固定ボルト	M12×35 (W1)	強度区分 6, 8 以上	0.05	12	0.6	HDZT49 + 工場塗装
14	スリーブ	□ 65×65×4.5t×300	SS400	1.80	14	25.2	〃
15	キャップ	□ 75×75×10	AC4C	0.23	14	3.2	工場塗装
合計						1075.5 kg	
16	フレーム	L 50×50×4t (30 組)	SS400	3.06	137.920m	422.0	HDZT49 + 工場塗装
17	メッシュパネル	φ 4×40×150 (30 枚)	SWM-P	3.06	37.851m2	115.8	〃
18	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	112	5.6	HDZT49
19	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 4, 6 以上	0.06	112	6.7	〃
20	端末接合板	9t×50×500	SS400	1.70	6	10.2	HDZT49 + 工場塗装
21	取付ボルト	M10×35 (N1, W2, SW1)	強度区分 4, 6 以上	0.06	24	1.4	HDZT49
合計						561.7 kg	
総合計						1637.2 kg	
一体型防護柵長 24.780 m							
・補強端末：2ヶ所〔防護柵〕							
・端末処理：2ヶ所〔落下物防止柵〕							
〔 使用支柱：0%支柱 14本 〕							

特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

注 記

1. 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(令和3年3月)による。
* コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上
2. 風荷重は「道路橋示方書・同解説」(平成29年11月)による。
3. アンカーボルトは地覆鉄筋を回避する仕様とする。
4. 樹脂カプセルアンカーは別途手配品とする。
5. 現場検測後のエキストラは別途計上とする。
6. 橋名板取付金具は2ヶ所取付けること。

取 付 部 詳 細 図 1/6



基準ピッチで地覆鉄筋に当たる場合は矢印の方向へ回避する。

別途手配品<参考>

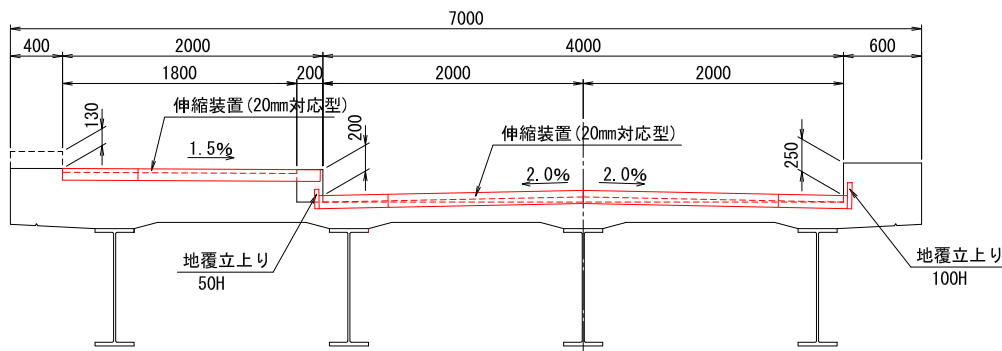
樹脂カプセルアンカー	数 量
前側：M20用 (TG-20LN) ロングタイプ	28
後側：M20用 (TG-20EN) ショートタイプ	28

工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	防護柵取替え工図(その3)		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計年度	
塩 竈 市	図番	8	13

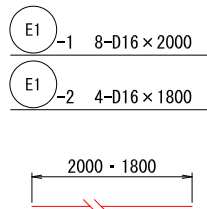
伸縮装置取替え工図(その1)

(A1)

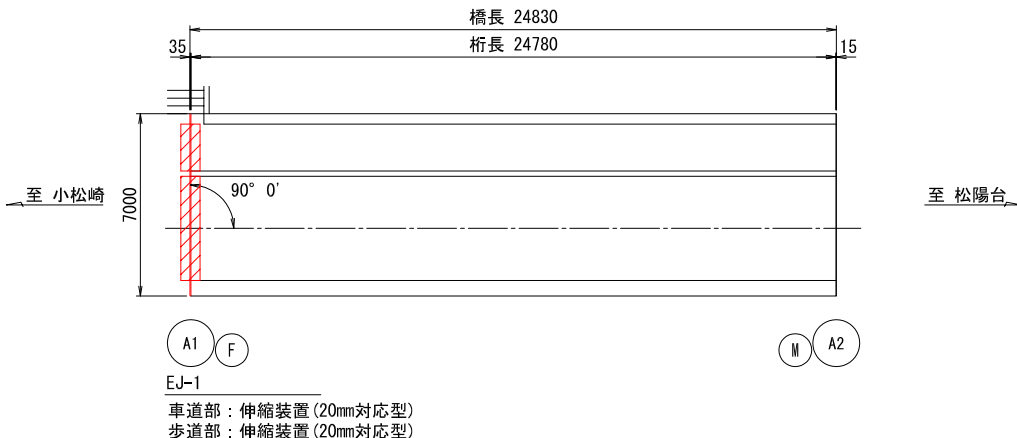
横断面図 S=1:30



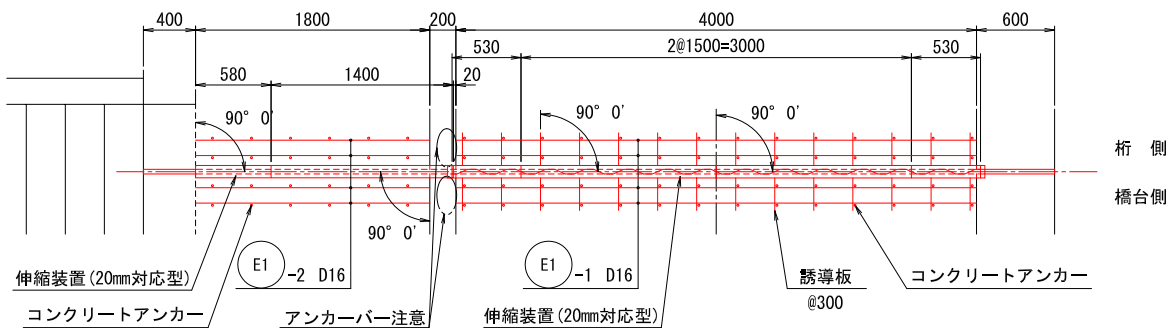
補強鉄筋加工図



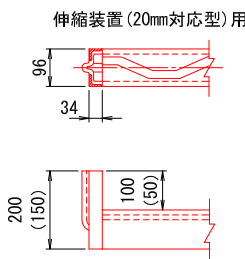
配置図 S=1:150



平面図 S=1:30



地覆立上り部詳細図 S=1:10

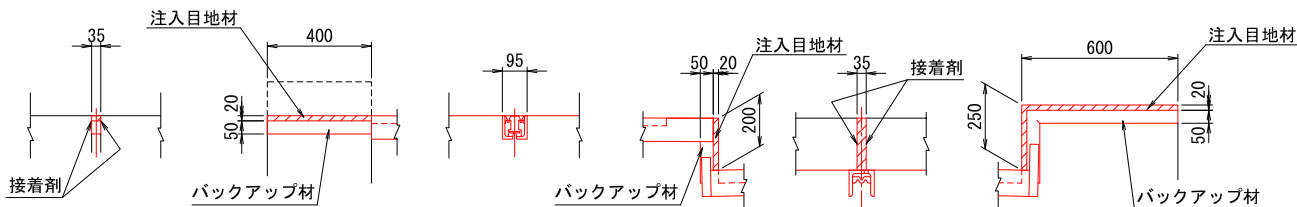


伸縮装置取付工事材料表

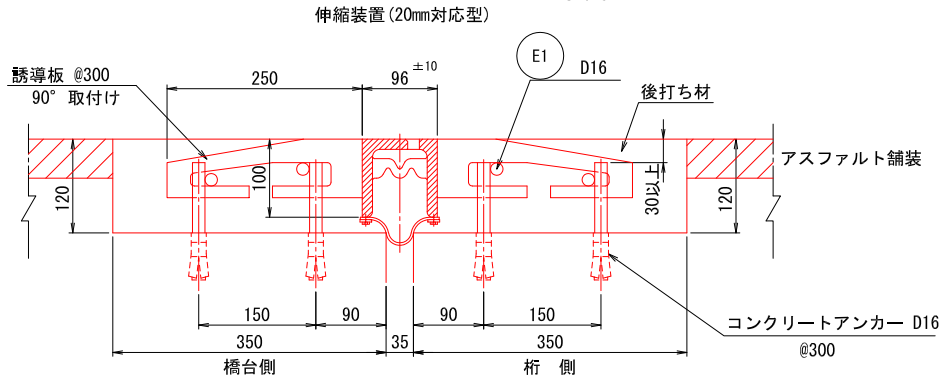
材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
車道部 鋼製櫛型ジョイント	伸縮装置 (20mm対応型) 誘導板: 90° 取付け	96 × 100 × 1500	2 本	合計 4.06 m 地覆立上り付き
		96 × 100 × 530	2 本	
歩道部 ゴムジョイント	伸縮装置 (20mm対応型)	95 × 90 × 1400	1 本	合計 1.98 m
		95 × 90 × 580	1 本	
地覆立上り	伸縮装置 (20mm対応型) 用	96 × 200 × 34	1 本	
		96 × 150 × 34	1 本	
後打ち材	ジェットコンクリート	700 × 120 × 5800	0.487 m ³	
補強鉄筋	E1-1	8-D16 × 2000	25.0 kg	合計 36.2 kg
	E1-2	4-D16 × 1800	11.2 kg	
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	80 本	
注入目地材	シール材	35 × 20 × 1450	1.0 l	
接 着 剤	プライマー No. 40 相当品		500 g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム	70 × 50	1.5 m	
接 着 剤	A・862B 相当品		100 g	最小ロット

※ 伸縮装置の切寸寸法及び切寸角度は現地実測結果を反映して決定する。

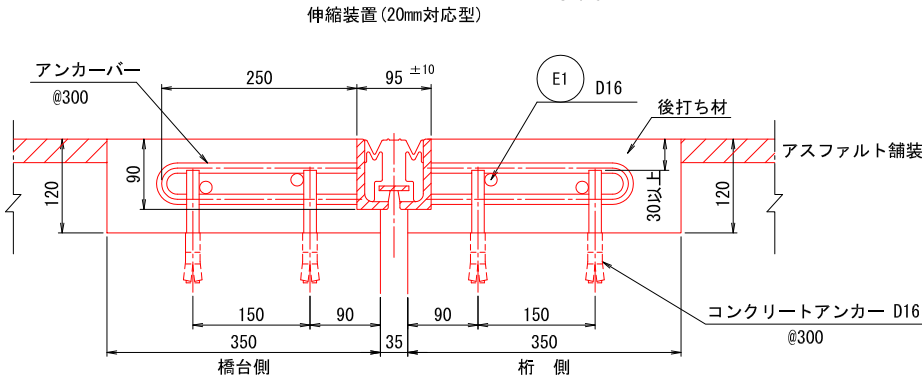
地覆部止水工詳細図 S=1:15



車道部取付断面図 S=1:5



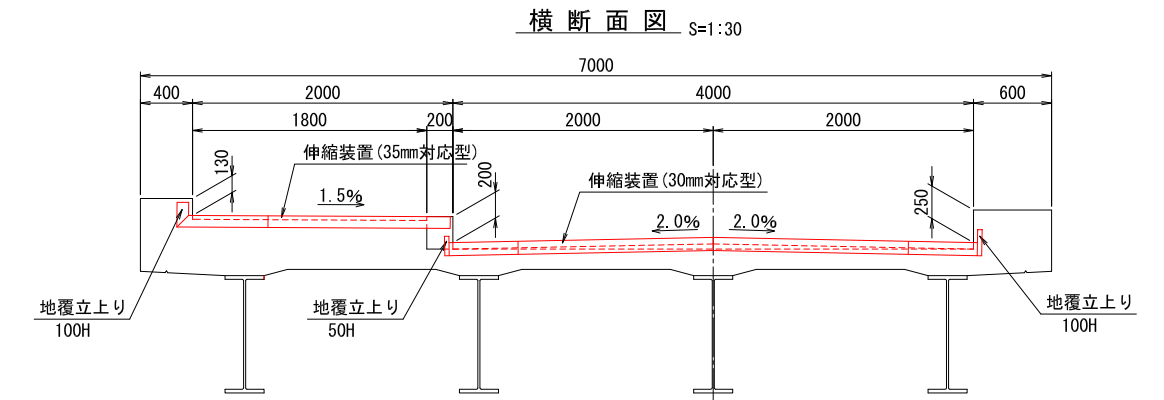
歩道部取付断面図 S=1:5



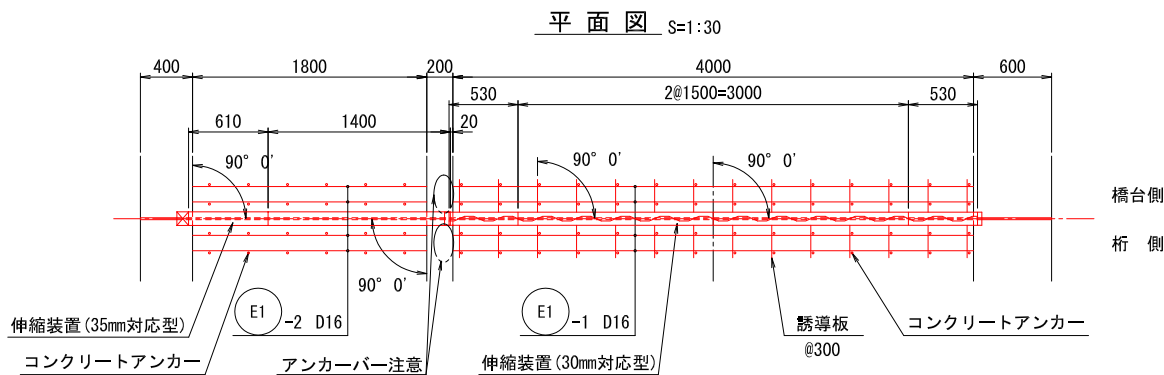
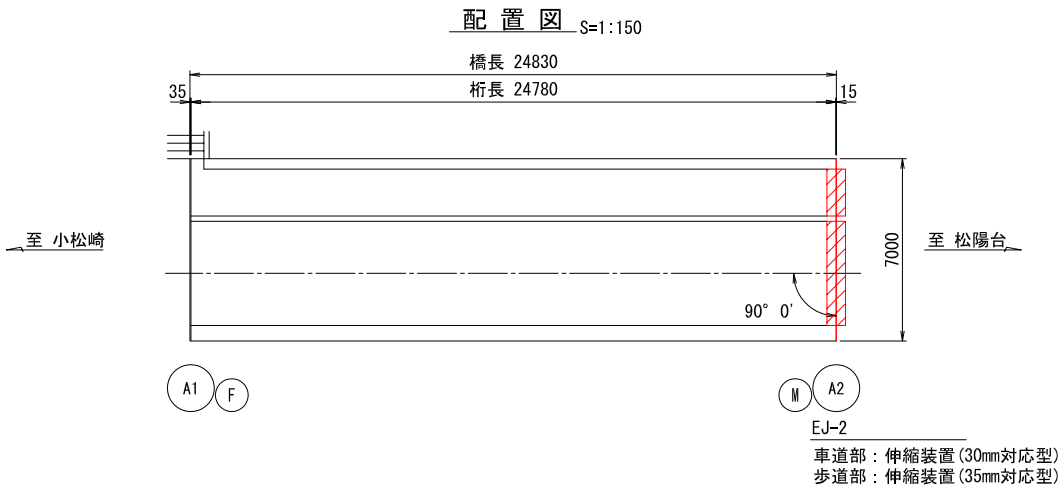
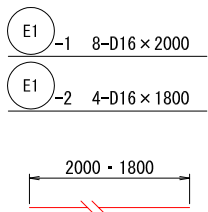
工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	伸縮装置取替え工図(その1)		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計 年度	
塩 竈 市		図番	9 / 13

伸縮装置取替え工図(その2)

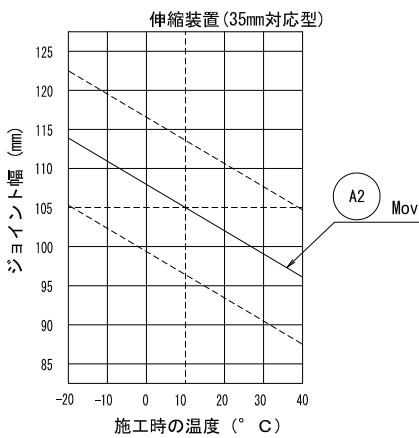
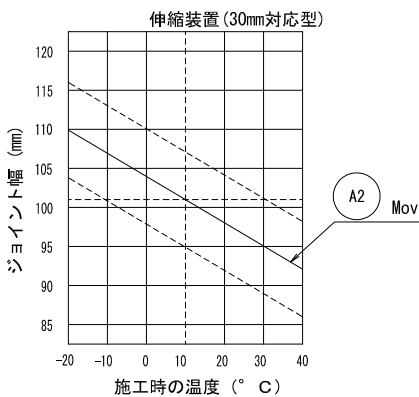
(A2)



補強鉄筋加工図



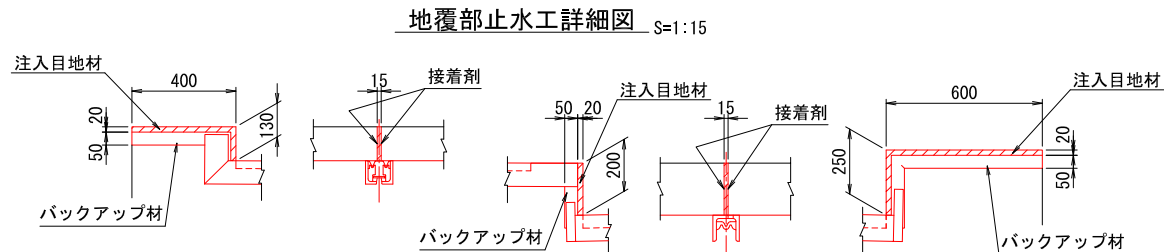
初圧縮グラフ



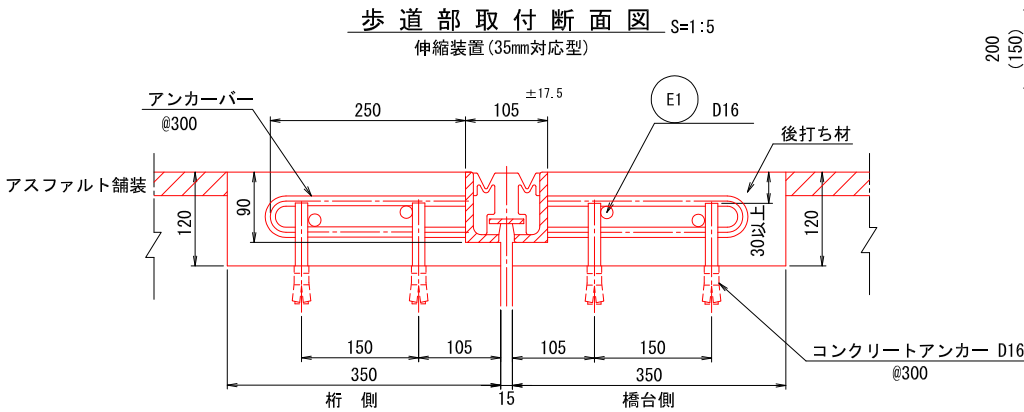
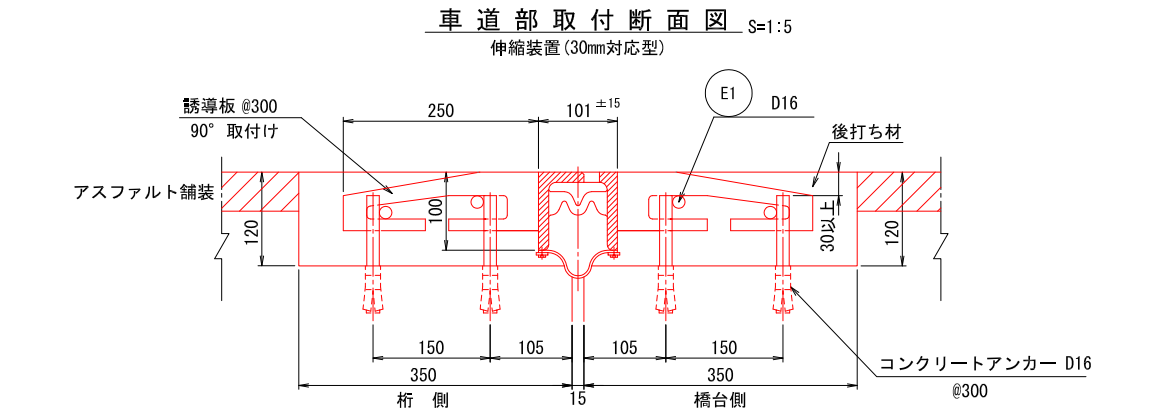
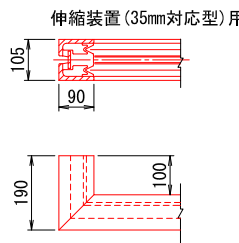
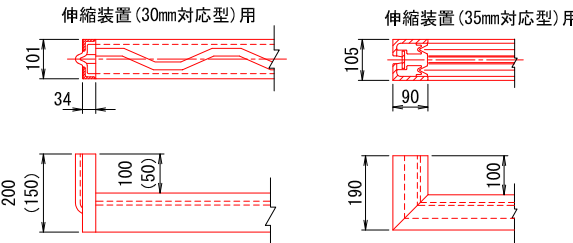
伸縮装置取付工事材料表

材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
車道部 鋼製櫛型ジョイント	伸縮装置 (30mm対応型) 誘導板: 90° 取付け	101×100×1500	2 本	合計 4.06 m 地覆立上り付き
		101×100×530	2 本	
歩道部 ゴムジョイント	伸縮装置 (35mm対応型)	105×90×1400	1 本	合計 2.01 m 地覆立上り付き
		105×90×610	1 本	
地覆立上り	伸縮装置 (30mm対応型) 用	101×200×34	1 本	
		101×150×34	1 本	
	伸縮装置 (35mm対応型) 用	105×190×90	1 本	
後打ち材	ジェットコンクリート	700×120×5800	0.487 m ³	
補強鉄筋	E1-1	8-D16×2000	25.0 kg	合計 36.2 kg
	E1-2	4-D16×1800	11.2 kg	
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	80 本	
注入目地材	シール材	15×20×1580	0.5 ㍓	
接 着 剤	プライマー No.40 相当品		-	その1図にて計上
バックアップ材	ウレタンフォーム	30×50	1.6 m	
接 着 剤	A・862B 相当品		-	その1図にて計上

※ 伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。



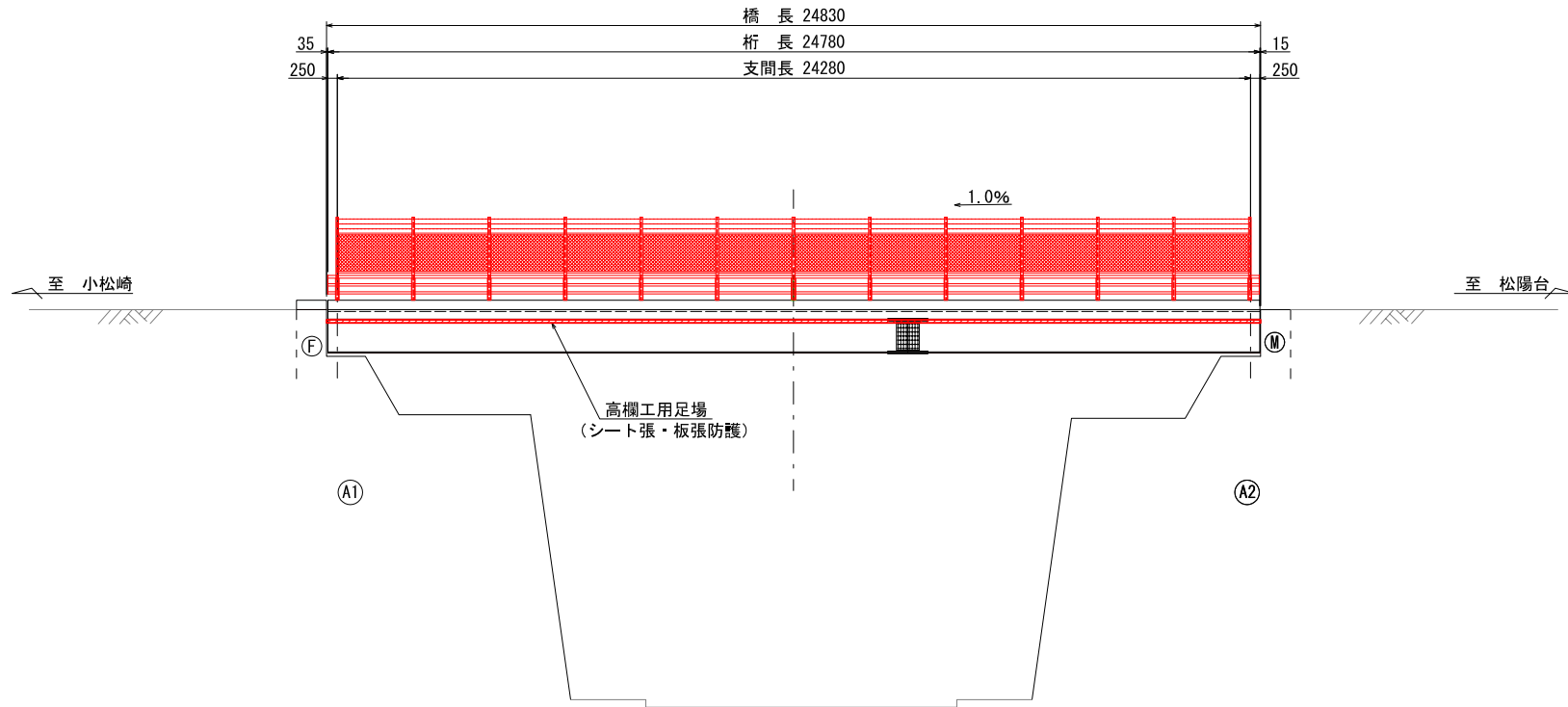
地覆立上り部詳細図 S=1:10



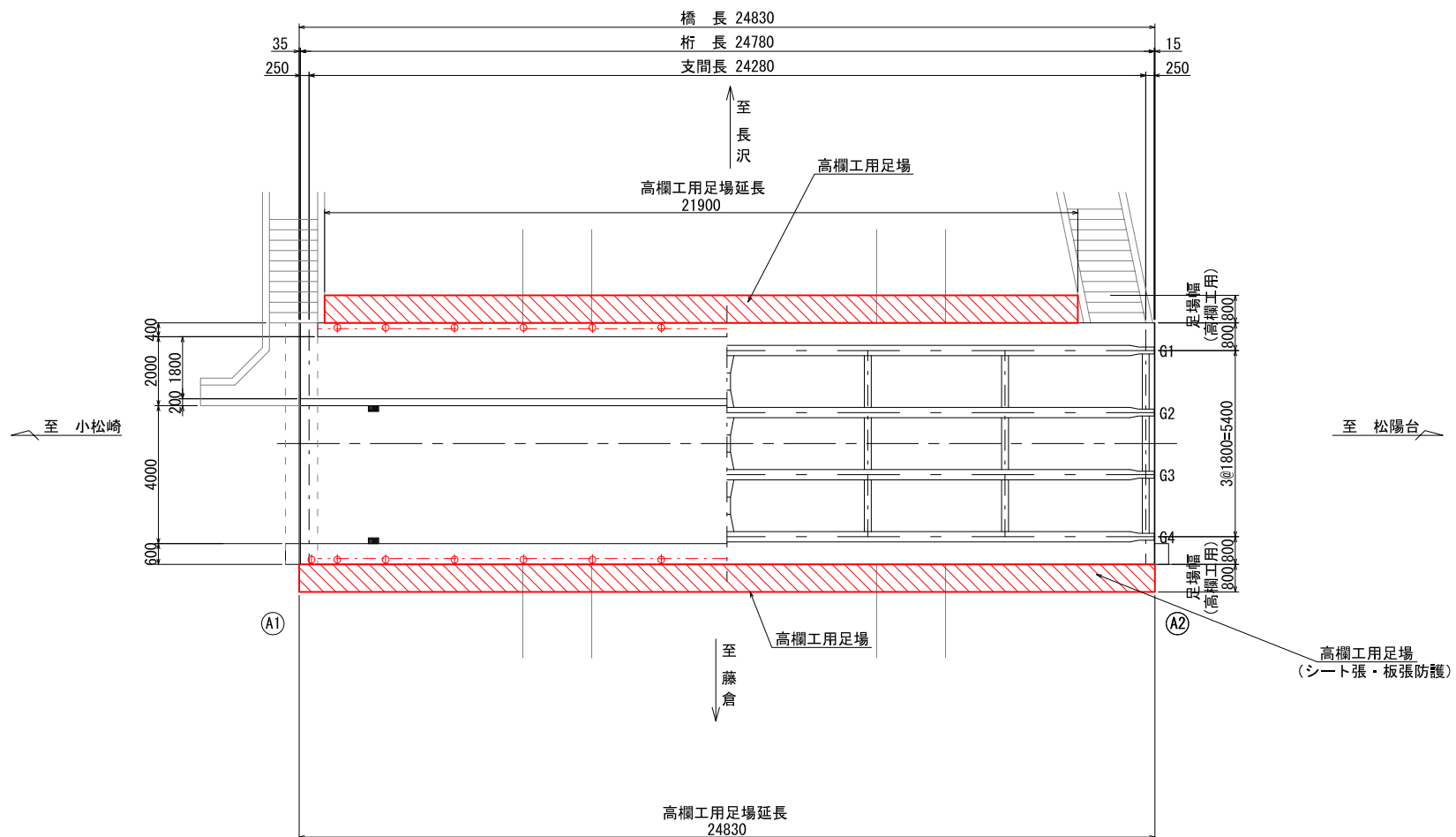
工事番号	号		
路 線 名	市道 小松崎松陽台線		
箇 所	塩竈市梅の宮 地内		
工 事 名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図 面 名	伸縮装置取替え工図(その2)		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計 年度	
塩 竈 市	図番	10	13

足場工計画図（参考図）

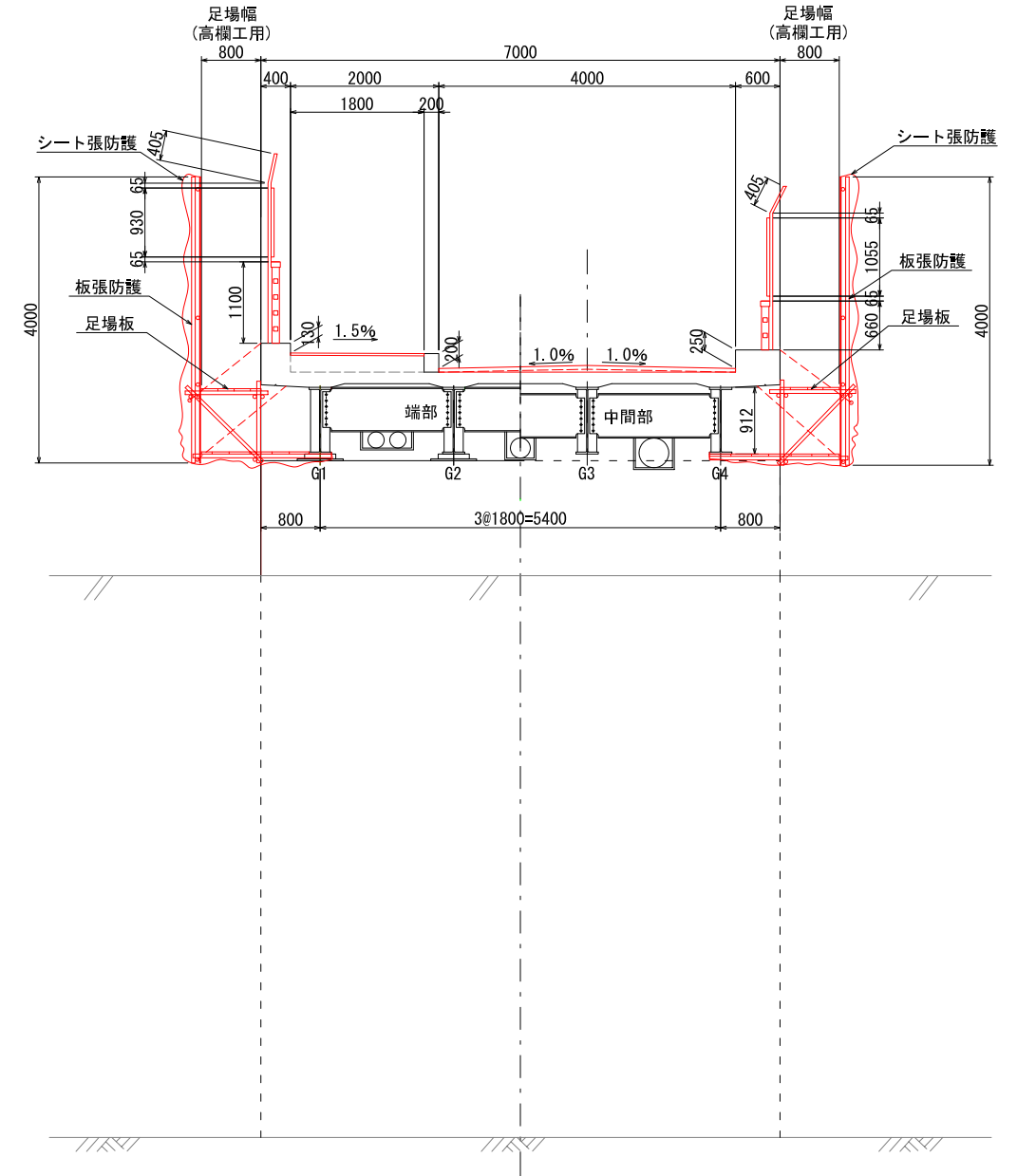
側 面 図 S = 1 : 100



平面图 S = 1 : 100



断面図

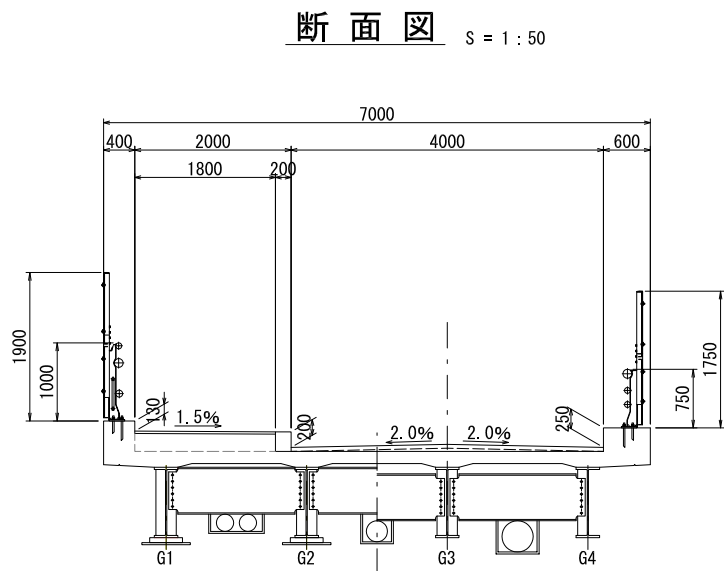
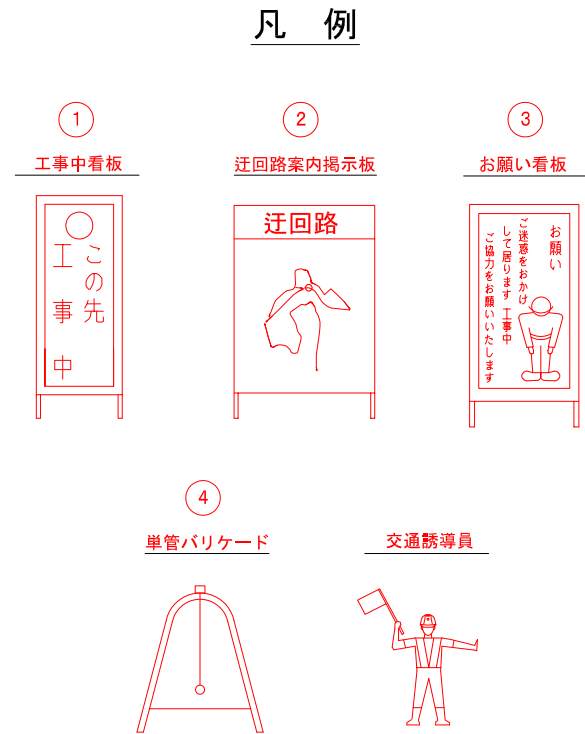
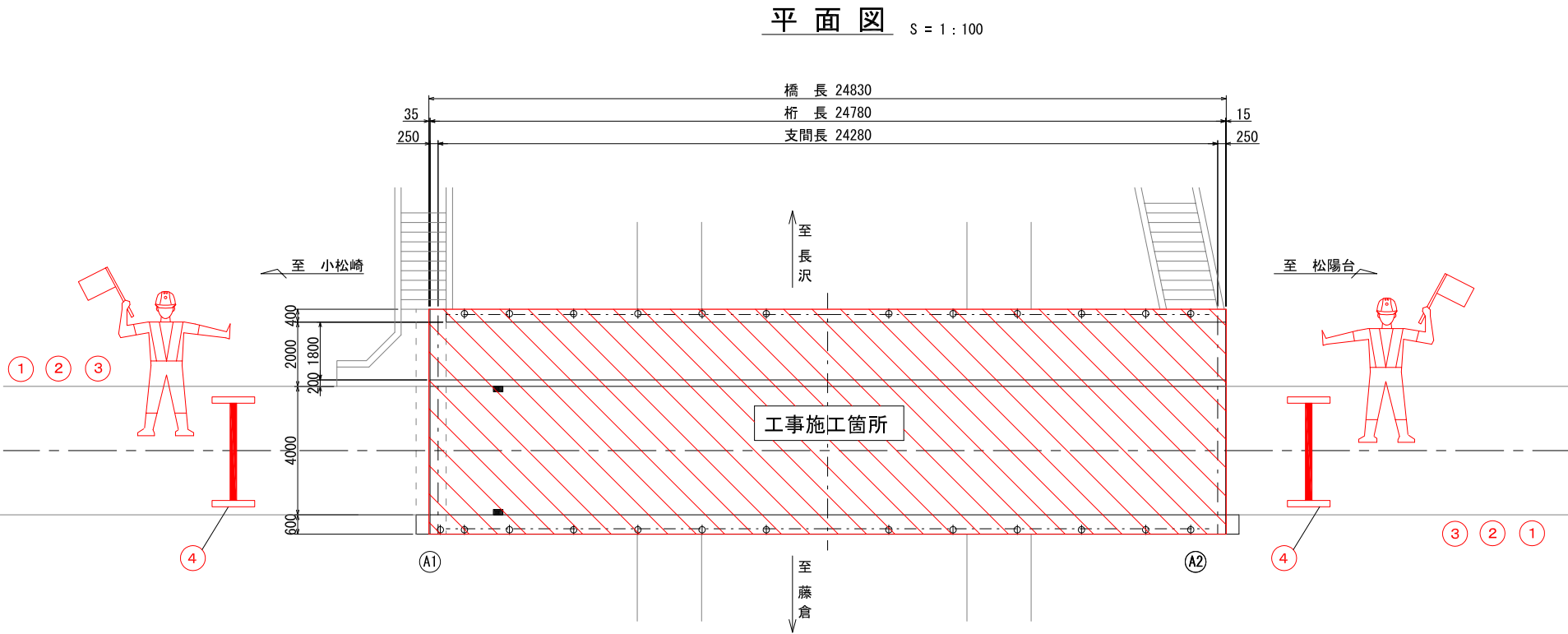


注記

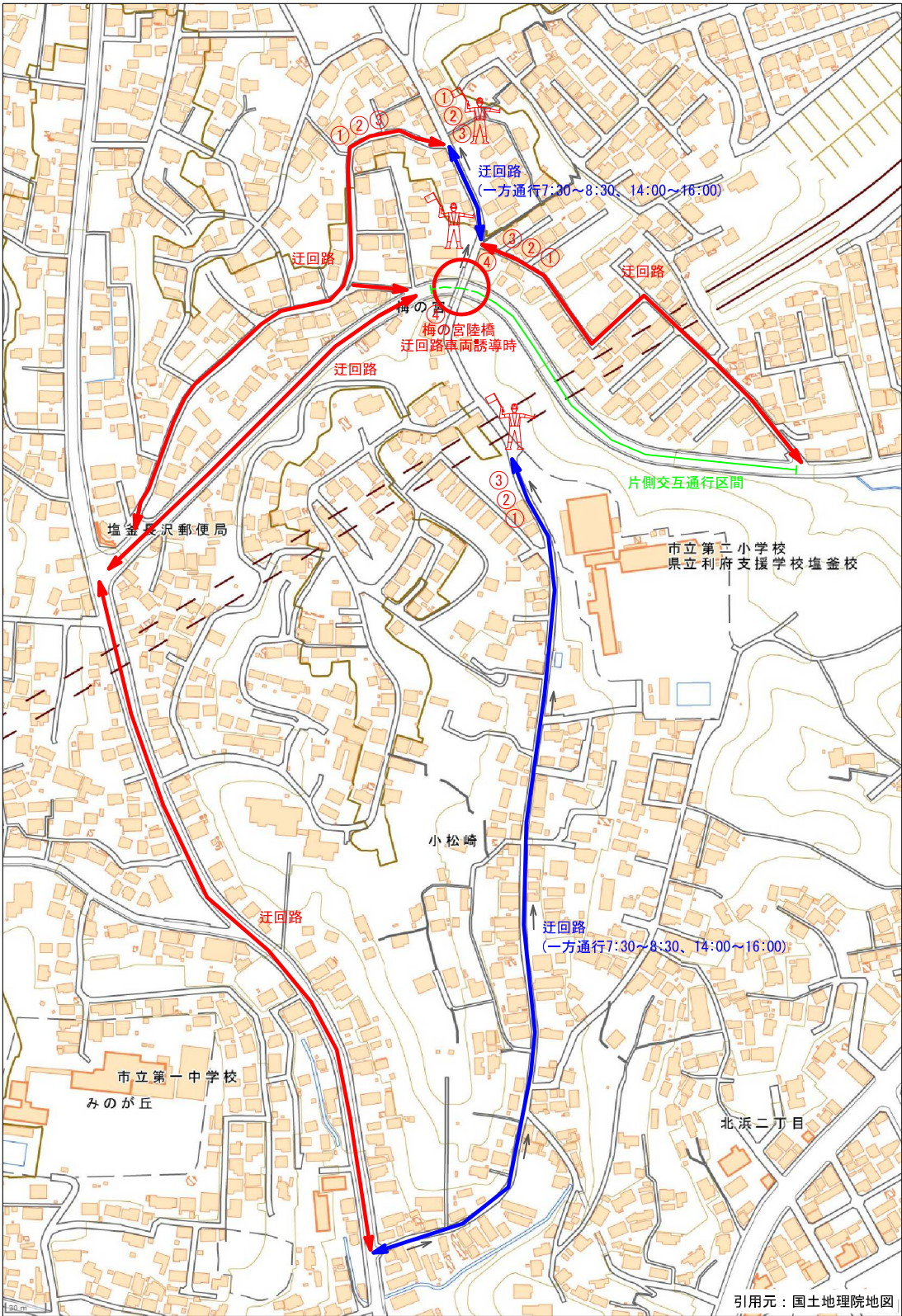
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

工事番号	号		
路線名	市道 小松崎崑陽台線		
箇所	塩竈市梅の宮 地内		
工事名	令4道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図面名	足場工計画図(参考図)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
塩 竈 市	図番	11 / 13	

交通規制図（参考図）
（迂回路車輛誘導時）



迂 回 路



規制用機材

番 号	種 別
①	工事中看板
②	迂回路案内揭示板
③	お願い看板
④	単管バリケード

工事番号	号
路 線 名	市道 小松崎松陽台線
箇 所	塩竈市梅の宮 地内
工 事 名	令和道メ・補 梅の宮陸橋補修工事
図 面 名	交通規制図(参考図)
縮 尺	図示 位置
設 計 者	設計 年度
塩 竈 市	図番 12 / 13

補修履歴板図(案)

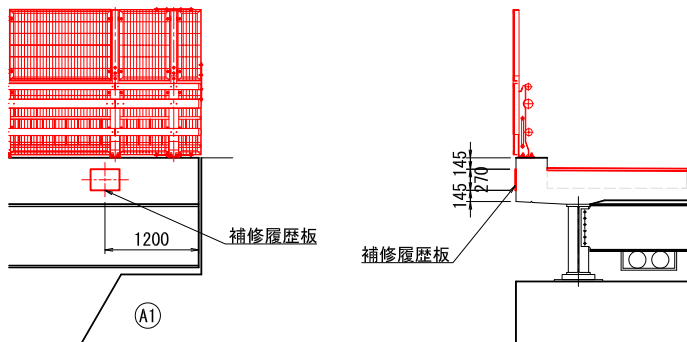
取付け詳細図

側面図

S=1:50

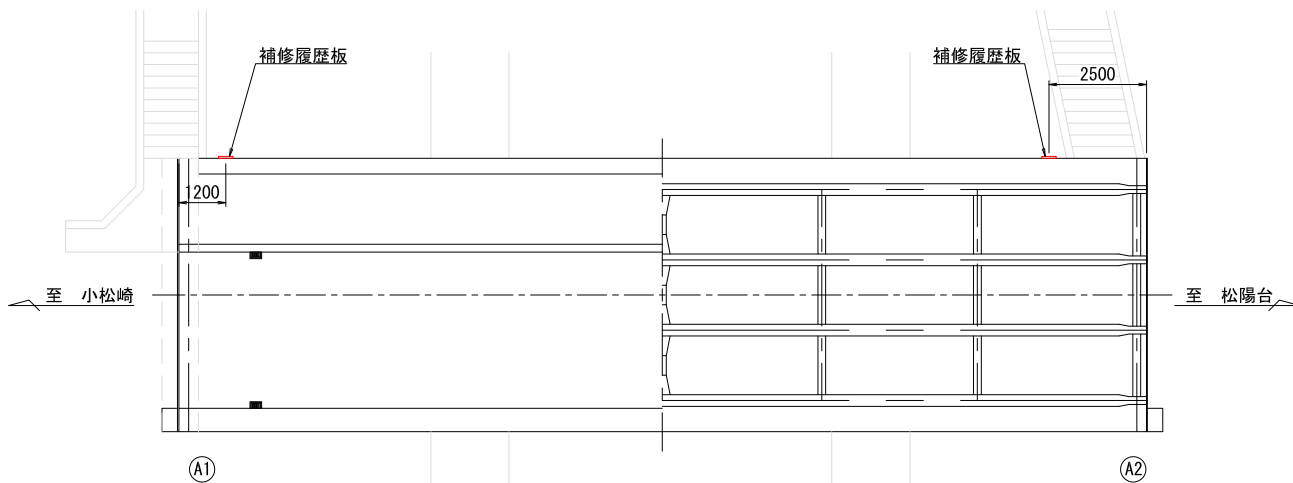
断面図

S=1:50



平面図

S=1:100



※補修履歴板の詳細設置位置は現地確認のうえ決定すること。

補修履歴板仕様

- サイズ：37(35)cm×27(25)cm
- 材質：アルミプラスチック複合板
- 文字：フィルムによるカットニング文字(丸ゴシック)
- 取付：取付面ケレン後、接着剤およびアンカーによる取付

補修履歴板

S=1:1

φ8mm
M6SUSアンカー取付

梅の宮陸橋補修工事記録

施工年月 令和〇〇年〇〇月

施工内容 <補修項目>

上部工補修工

断面修復工、ひび割れ補修工

塗替え塗装工、当て板補修工

下部工補修工

断面修復工、ひび割れ補修工、表面保護工

支承補修工

支承取替え工、支承塗替え塗装工

橋面防水工

車道部：塗膜系

歩道部：塗膜系

伸縮継手工

伸縮装置補修(鋼・ゴム製の伸縮装置)

舗装打換え工

舗装版破碎工、アスファルト舗装工、区画線工

橋梁用高欄工

防護柵取替え、落下物防止柵取替え工

排水施設工

排水管取替え

設計会社 (株)〇〇〇〇〇

施工会社 〇〇建設(株)

工事番号	号		
路線名	市道 小松崎松陽台線		
箇所	塩竈市梅の宮 地内		
工事名	令6-道メ・補 梅の宮陸橋補修工事		
図面名	補修履歴板図(案)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
塩 竈 市	図番	13 / 13	